

東京医科大学医学部看護学科

2021 年度卒業生アンケート

結果報告書



東京医科大学 教育 IR センター

目次

1. 巻頭言（学長 林 由起子）	3
2. 看護学科報告書	4
看護学科長挨拶	5
同窓会長挨拶	6
看護学科報告書目次	7
3. おわりに	50

巻頭言

2021 年度卒業生アンケートに寄せて



東京医科大学 学長 林 由起子

この度、教育 IR センターを中心に実施・集計いたしました 2021 年度版卒業生アンケートの結果を冊子にまとめ、皆様のお手元にお届けできることとなりました。卒業生アンケートは医学科では 2015 年度版を作成してから 2 回目、看護学科では初めてのものとなります。アンケート調査には多くの卒業生の皆様にご協力いただき、大変充実したものとなりました。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

医学・看護学教育は学問やめざましい技術の進歩に加え、国際化や急速に変化する社会のニーズにも対応できるよう、近年、著しい変化を続けており、医学科では定期的に大幅なカリキュラム改変が実施され、さらに毎年、新たな取り組みを導入しております。看護学科は 2021 年度より、新カリキュラムが開始されました。

卒業生アンケートは、本学の学生教育の具体的な検証にとどまらず、頂戴した貴重なご意見を参考に、より良い教育を目指していく指標ともなります。また、同窓生の皆様のご活躍を通じて、「患者と共に歩む医療人を育てる」という本学のミッションの達成度も推し測ることが可能となります。

1 つ 1 つのデータが多くのことを示唆しております。ぜひ、じっくりとご覧いただき、ご意見、ご感想をお寄せいただけますと幸いです。また、今後とも本学の教育活動を見守っていただき、ご指導、ご鞭撻を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

看護学科報告書

看護学科の卒業生アンケートに寄せて



東京医科大学医学部 看護学科長 阿部幸恵

社会の変化に伴って看護学教育も変革の時を迎えています。特に、2年に渡るコロナ禍の影響は大きく、臨地での実習が代替実習へ、対面での講義はオンラインへと学生たちの学びの環境と学習方法は激変しました。そのような中、保健師助産師看護師学校養成所指定規則が改正となり、全国の大学で2022年度入学生から適用となります。看護学科では、それに先駆けて2021年度入学者から改正したカリキュラムを導入しています。改正カリキュラムを構築していく上で大切になるのが、どのような能力を持った学生に学位を授与するかという学位授与の方針(ディプロマポリシー)です。看護学科は、2021年までに6回の卒業生を輩出していますが、その卒業生たちが、基礎教育で受けた教育をどのように受け止めているのか、基礎教育で培った能力を卒業後にどのように伸ばしているのか、彼らが多様な課題に専門職者として挑んでいくために基礎教育で備えておくものは何か等、卒業生の視点からのカリキュラム評価と改善が看護学科の教育の質を決めていくと考えています。2020年には、日本看護学教育評価機構(Japan Accreditation Board for Nursing Education ; JABNE)により、看護学の教育評価が始まりました。その評価基準の中にも「卒業生からの評価」が含まれていることから、カリキュラムの評価と改善に卒業生の視点が重要であることがわかります。ちなみに、看護学科は、2022年度に受審します。近年、看護学の大学化は急速に進み、現在300校に達する勢いです。内部および外部からの評価と実行性ある改善を継続し、卒業生が誇れる看護学科を目指していきたいと思っています。

今回の卒業生アンケートは、開設以来はじめての調査です。コロナ禍で多忙な中、アンケートにご協力頂いた皆様に厚く御礼申し上げます。また、このアンケート調査を行い、分析してまとめて下さった教育IRセンターの皆様にも感謝申し上げます。アンケート結果からは、これまでの看護学科のカリキュラムの成果と課題を読み取ることができます。成果については、向上に向けて、課題については、改善できるようにカリキュラムを見直していきます。常に看護学教育の質保証を念頭に置き、本学のミッションである「患者とともに歩む医療人」を多く輩出できるよう尽力していきます。

看護学科の卒業生アンケートに寄せて



東京医科大学看護同窓会 会長 石塚 睦子

1991年から全大学が教育研究等の自己点検・自己評価を行うことが大学設置基準において努力義務となり、1999年から義務となりましたが、2018年には、一般社団法人日本看護系大学協議会が看護学教育評価の第3者機関として『日本看護学教育評価機構』を設立し、初めて2020年度には分野別評価事業を行うこととなったことは記憶に新しいことです。

東京医科大学医学部看護学科では、そのような動向に迅速に対応され、コロナ禍で大変な中にも関わらず、教育の質保証の評価指標のひとつとして、2021年度には第1期生から第5期生までの卒業生に対するアンケート調査を実施されました。データ収集から結果・分析・考察にご尽力された教職員の皆様、大変お疲れ様でした。皆様の労をねぎらうと共に、得られた結果が、今後の更なる東京医科大学の看護教育、学生対応、研究活動等の充実・向上につながることを祈っております。

結果を見ますと、卒業時到達目標で「人間の生命と尊厳を尊重し、高い倫理観に基づいた健全な人間関係を形成できる」を達成したと答えた人が最も多い結果です。人間のいのち、健康を対象とする看護職にとって、それは肝心なことと考えます。東京医科大学病院への就職者割合が徐々に増加傾向にあるということも喜ばしく思いました。頼もしい後輩たちが、今後益々母校の関連施設で貢献し、東京医科大学の看護、ひいては日本の看護を発展させていってくれることを期待しています。また、東京医科大学看護同窓会としても、微力ではありますが、これからも母校の発展を見守り、支援していきたいと思っております。

看護学科

目次

1. はじめに.....	8
2. 調査基本情報.....	8
2.1 調査概要.....	8
2.2 調査項目（資料を参照）.....	9
3. 調査結果.....	10
Q1. 卒業年.....	10
Q2. 性別.....	10
Q3. 卒業直後の進路.....	11
卒業直後に就職した人の	
Q4. 就職先.....	12
Q5. 職種.....	13
Q6. 雇用形態.....	13
Q7. 勤務の継続.....	14
Q8. 勤続年数.....	14
卒業直後に進学・そのほかの人の	
Q9. 現在の状況.....	15
Q10. 職種.....	16
Q11. 雇用形態.....	16
Q12. 勤続年数.....	17
Q13. 卒業後の意識の変化.....	18
Q14. 卒業後のボランティアや社会貢献活動への参加（自由記載）.....	18
Q15. 教育到達目標の達成度.....	19
Q16. カリキュラムの満足度.....	23
Q17. カリキュラムへの意見（自由記載）.....	28
Q18. 在学中にもっと学びたかった項目.....	29
Q19. 母校の良かった点.....	31
Q20. 母校の改善すべき点.....	34
Q21. 母校の総合的評価.....	38
Q22. 意見や要望.....	40
4. まとめ.....	42
<資料>	
1. 卒業生アンケート質問票.....	44

1. はじめに

東京医科大学医学部看護学科は 2013 年に開設され、2021 年現在 9 年目を迎えている。2016 年度に初めて卒業生が誕生し、2020 年度末で約 450 名が卒業した。

2013 年の薬学分野を皮切りに、日本でも高等教育における質保証を行う目的から医療系の専門分野における分野別評価が開始されている。分野別評価とは、その分野の教育活動について自己点検評価した内容が評価基準に適合しているかを問われるもので、看護学分野も、薬学（2013 年評価事業開始）、医学（2017 年評価事業開始）に次いで、2020 年に日本看護学教育評価機構（Japan Accreditation Board for Nursing Education ; JABNE）により、分野別評価を開始した。JABNE による評価項目には、「評価項目 3-3 雇用者・卒業生からの評価と改善」として「16. 卒業生に教育プログラムに対する満足度調査、卒業後の動向調査をしている」という内容が含まれており、卒業生からの評価は、自己点検のための重要な指標とされている。

以上を踏まえ本調査は、これまで東京医科大学医学部看護学科を卒業した卒業生を対象に、キャリアの実態・動向を把握すると共に、在学時のカリキュラムや学校環境等を卒業生の視点から評価することによって、今後の看護学科のカリキュラムや教育プログラムの改善に向けた基礎資料（エビデンス）を得ることを目的に行った。

2. 調査基本情報

2.1 調査概要

- ① 調査期間：2021 年 10 月 8 日～2021 年 11 月 7 日
- ② 調査対象：2017 年 3 月卒から 2021 年 3 月卒までの卒業生
- ③ 調査方法：調査方法：調査は、教育 IR センターにて調査用紙を作成し、実務は株式会社日経リサーチに委託した。郵送先の名簿は、東京医科大学看護同窓会（以下、同窓会）より入手した。回答は Web 回答であった。
- ④ 回収状況：
発送数：405 回収数：114
回収率：28.1%（未達 42 を除外して算出）
2017 年 3 月卒から 2021 年 3 月卒までの卒業生 453 名のうち、同窓会で住所を把握している 447 名に調査票を送付し、114 名から回答を得た。回収率は 28.1%だった。

表1 卒業年別卒業生数、回答数、回答率

卒業年	卒業生数	送付者数	未達者数	回答数	回答率(%)
2017年	80	75	8	22	32.8
2018年	100	99	12	25	28.7
2019年	92	92	12	22	27.5
2020年	94	94	8	23	26.7
2021年	87	87	2	22	25.9
合計	453	447	42	114	28.1

表2 性別による卒業生数、回答数

	卒業生数	回答数
女性	434	111
男性	19	2

回答数：性別に回答なし1を除く

2.2 調査項目（巻末の調査用紙を参照）

属性に関する質問

Q1. 卒業年 Q2. 性別

卒業後のキャリアに関する質問

Q3. 卒業直後の進路、卒業直後に就職した人の Q4.就職先、Q5.職種、Q6.雇用形態、Q7. 勤務の継続、Q8. 勤続年数、卒業直後に進学・そのほかの人の Q9.現在の状況、Q10.職種、Q11. 雇用形態、 Q12. 勤続年数

卒業後の意識や行動の変化に関する質問

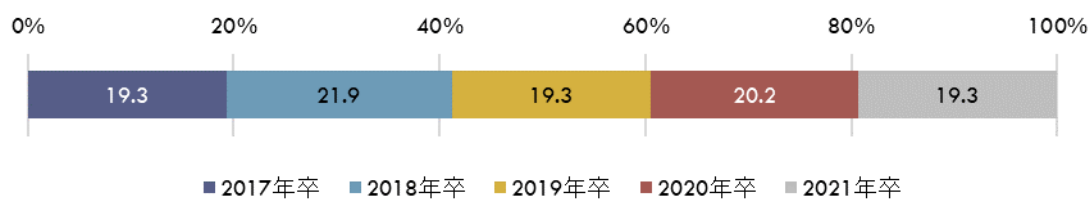
Q13. 卒業後の意識の変化、Q14. 卒業後のボランティアや社会貢献活動への参加

東京医科大学の教育についての質問

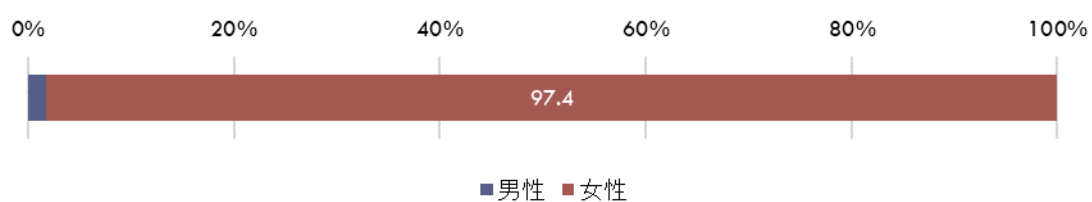
Q15. 現行の教育到達目標の評価、Q16. カリキュラムの満足度、Q17. カリキュラムへの意見（自由記載）、Q18.学生時代にもっと学びたかった項目、Q19. 母校の良かった点、Q20. 母校の改善すべき点、Q21. 母校の総合的評価、Q22. 意見や要望（自由記載）

3. 調査結果

Q1. あなたの卒業年を教えてください。



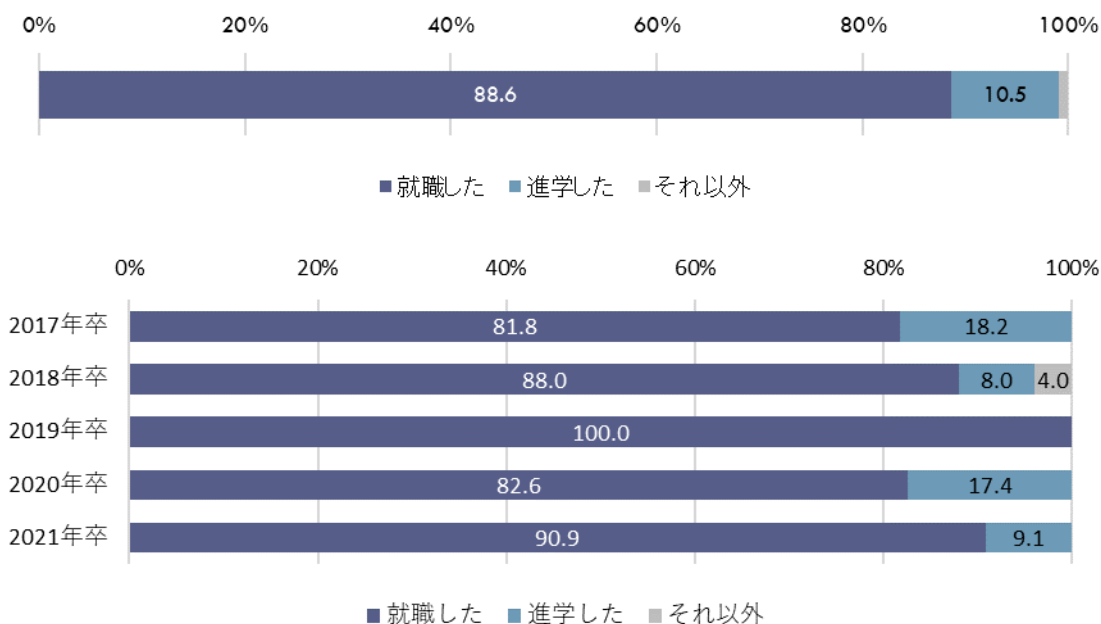
Q2. 性別を教えてください。



卒業後のキャリアについてお伺いします

Q3. 卒業直後の進路を教えてください。

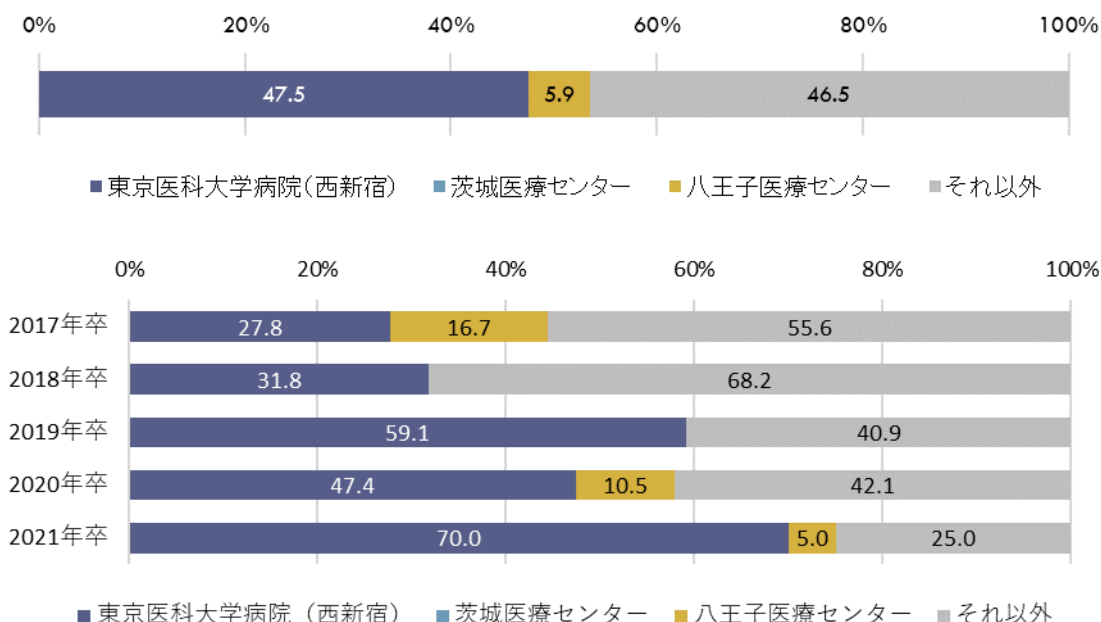
卒業直後は、全体として88.6%が就職していた。卒業別に見るといずれの卒業年も8割以上が就職している。進学者の割合は卒業年によって違いがあるが、回答者の10-20%程度が卒業直後に進学していた。



- ・ 「進学した」と回答した人の自由記述：日本赤十字助産師学校(2)、茨城県立医療大学助産学専攻科、聖路加国際大学大学院、日本大学大学院、母子保健研修センター助産師学校、昭和大学、首都大学東京、日本赤十字看護大学大学院、東京医療保健大学
- ・ 「それ以外」と回答した人の自由記述：留学

Q4. (Q3 で卒業直後に「就職した」と回答した人へ) 卒業直後の就職先はどちらですか。

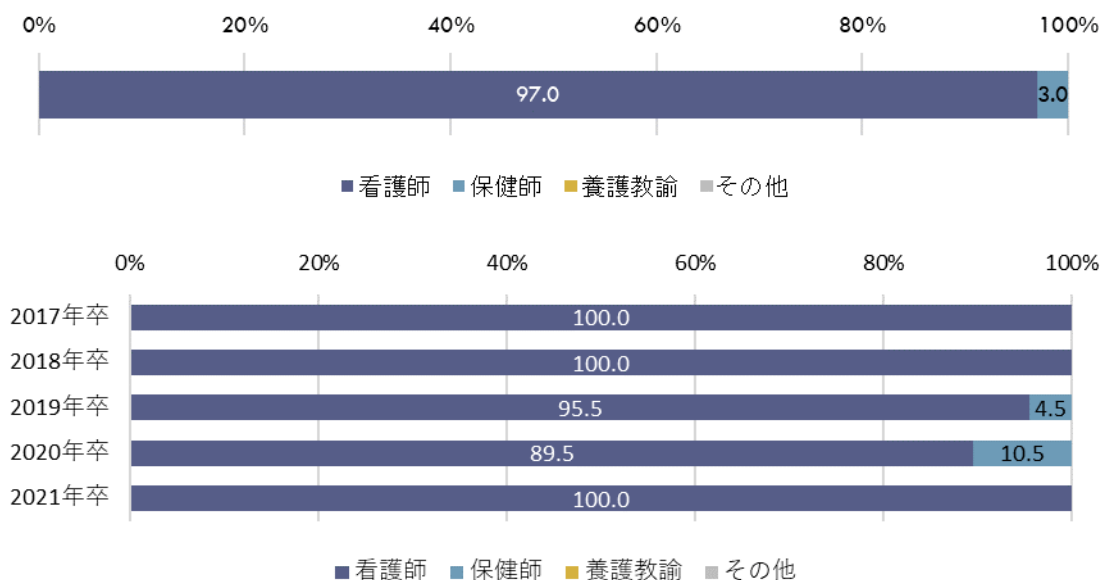
卒業直後は、全体として約半数が東京医科大学病院（西新宿）に就職している。卒業年別にみると、最近の方がその割合が高くなっている傾向が見られる。



- ・ 「それ以外」と回答した人の自由記述：国立国際医療研究センター (5)、虎の門病院 (4)、東京大学医学部附属病院 (3)、自治医科大学附属さいたま医療センター(2)、都立大塚病院 (2)、がん研有明病院、国立がん研究センター中央病院、国立精神・神経医療研究センター、館山病院、九段坂病院、三井記念病院、三宿病院、順天堂医院、小児総合医療センター、昭和大学横浜市北部病院、松沢病院、神奈川県立こども医療センター、千葉大学病院、多摩総合医療センター、東京医科歯科大学病院、東京武蔵野病院、武蔵野赤十字病院、埼玉県保健所

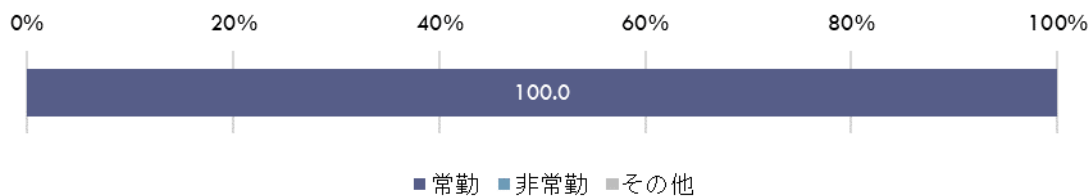
Q5. (Q3 で卒業直後に「就職した」と回答した人へ) 卒業直後の業務上の職種を教えてください。

卒業直後の就職時の職種は全体として 97.0%が看護師だが、保健師として就職している者も全体の 3%いた。



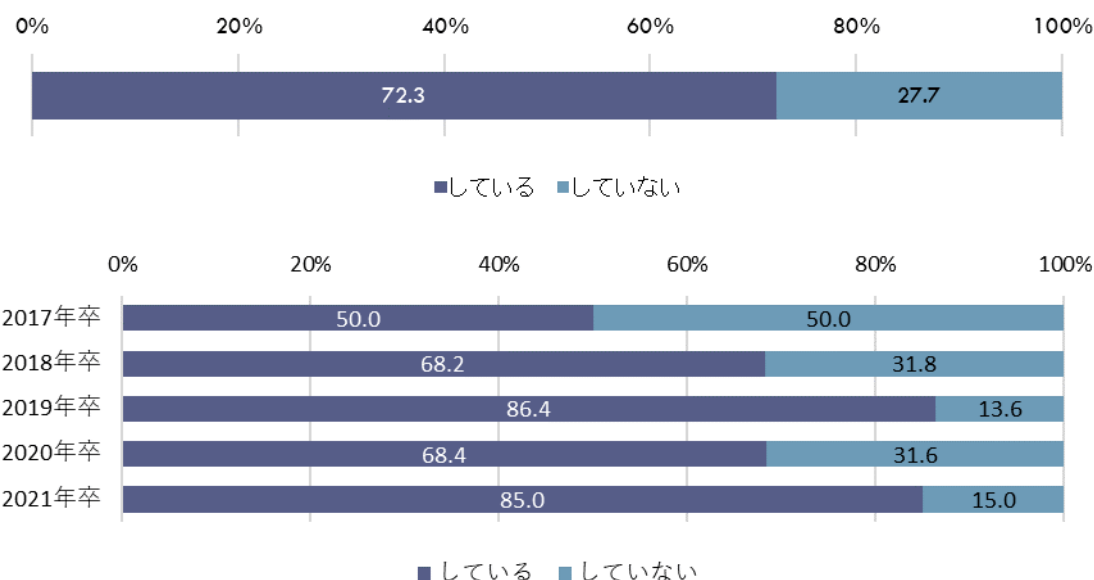
Q6. (Q3 で卒業直後に「就職した」と回答した人へ) 卒業直後の雇用形態を教えてください。

卒業直後の雇用形態は、回答者全員が常勤であった。

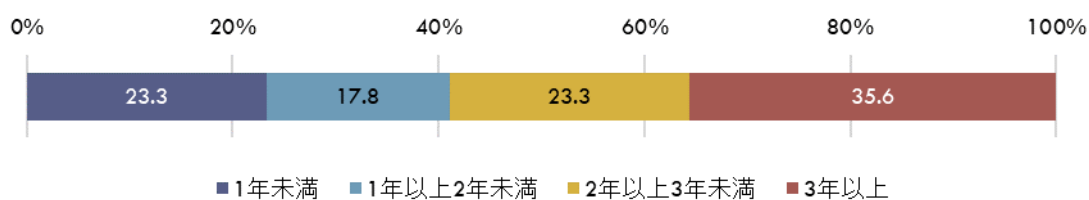


Q7. (Q3 で卒業直後に「就職した」と回答した人へ) 現在も同じ所に勤務していますか。

卒業直後に就職している者に、現在も勤務を継続しているかを尋ねた結果、継続している者は全体として 72.3%であった。卒業年別では、2017 年卒において半数が同じ所に勤務しておらず、2021 年卒は既に 15.0%が卒業直後と同じところには勤務していない。

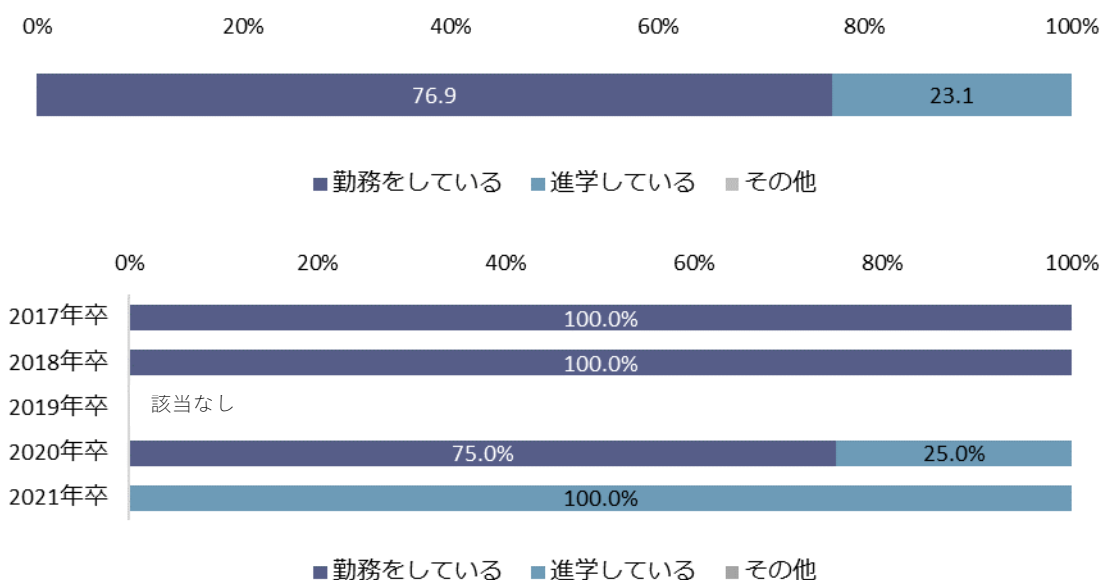


Q8. (Q7 で、「現在も同じところに勤務している」と回答した人へ) 勤続年数を教えてください。



Q9. (Q3 で卒業直後に「進学した」「それ以外」と回答した人へ) 現在の状況を教えてください。

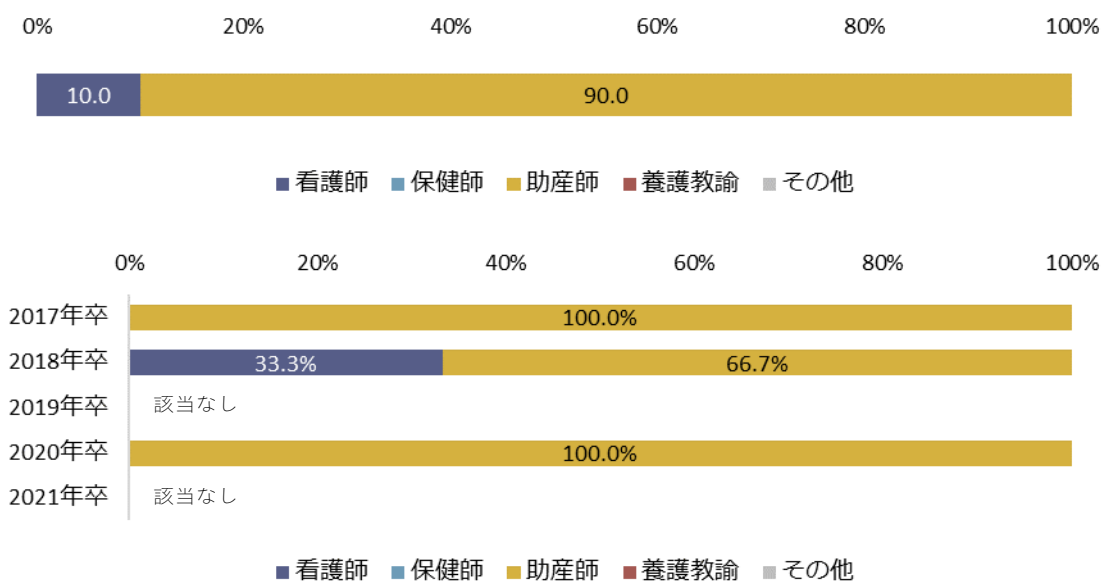
卒業直後に「進学した」「それ以外」と回答した者に現在の状況を尋ねたところ、現在勤務している者は 76.9%であった。



- ・ 「勤務をしている」と回答した人の自由記述 (具体的な勤務先名) : 東京医科大学病院 (3)、東京かつしか赤十字母子医療センター (2)、日本赤十字社医療センター、昭和大学横浜市北部病院、筑波大学附属病院、婦人科クリニック
- ・ 「進学している」と回答した人の自由記述 (具体的な進学先名) : 聖路加国際大学大学院、日本大学大学院

Q10. (Q3で卒業直後は「進学した」「それ以外」で、Q9で現在は「勤務している」と回答した人へ)現在の業務上の職種を教えてください。

卒業直後に「進学した」「それ以外」と回答し、現在は「勤務している」と回答した者に現在の業務上の職種を尋ねたところ、助産師が90%、看護師が10%だった。進学者の大半は、助産師資格取得を目的に進学していることが分かる。

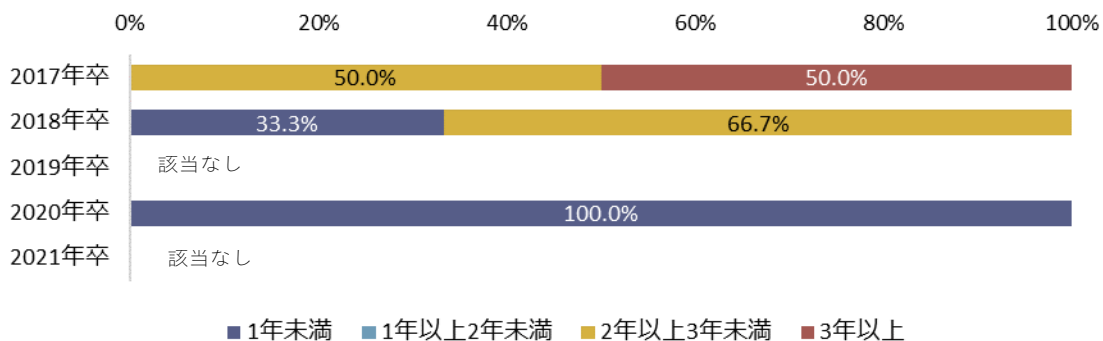
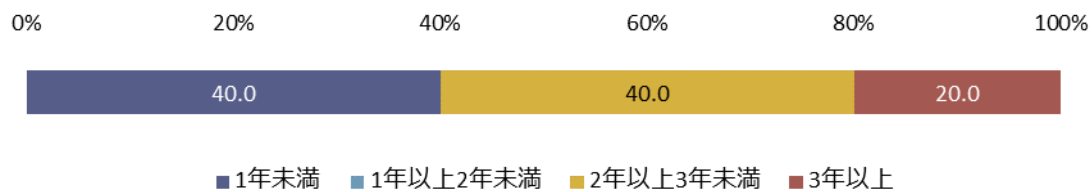


Q11. (Q3で卒業直後は「進学した」「それ以外」で、Q9で現在は「勤務している」と回答した人へ)現在の雇用形態を教えてください。

卒業直後に「進学した」「それ以外」と回答した者に現在の雇用形態を尋ねたところ、全員が常勤であった。



Q12. (Q3で卒業直後は「進学した」「それ以外」で、Q9で現在は「勤務している」と回答した人へ) 現在の所属先の勤続年数を教えてください。

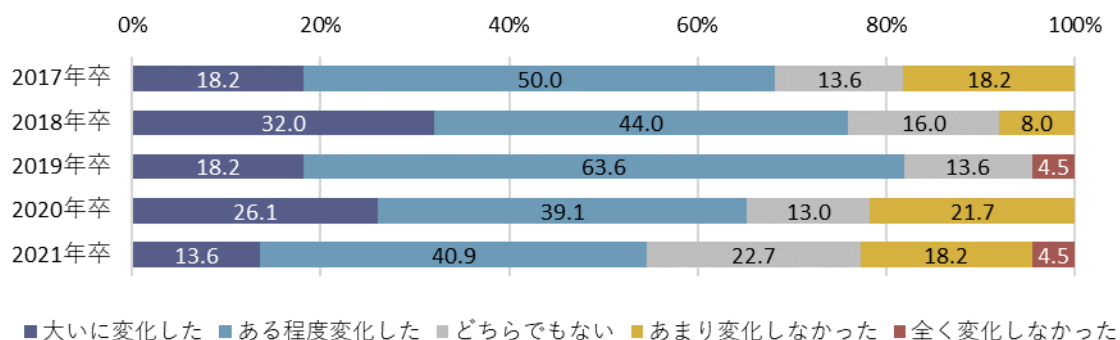
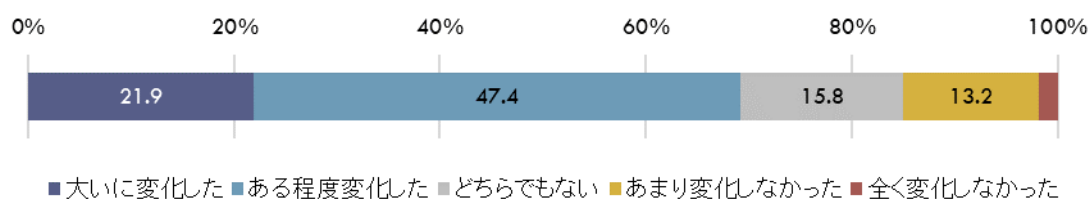


ここから全員に伺います。

卒業後の意識や行動の変化に関して伺います

Q13. 卒業して社会に出たことで、“医療職として社会に貢献するという意識”は変化しましたか。

変化した（「大いに变化した」と「ある程度变化した」の合計）が全体の69.3%に上った。卒業年ごとには顕著な傾向は見られなかった。



Q14. 卒業してから今まで、ボランティア活動や社会貢献活動に参加しましたか。具体的に教えてください。

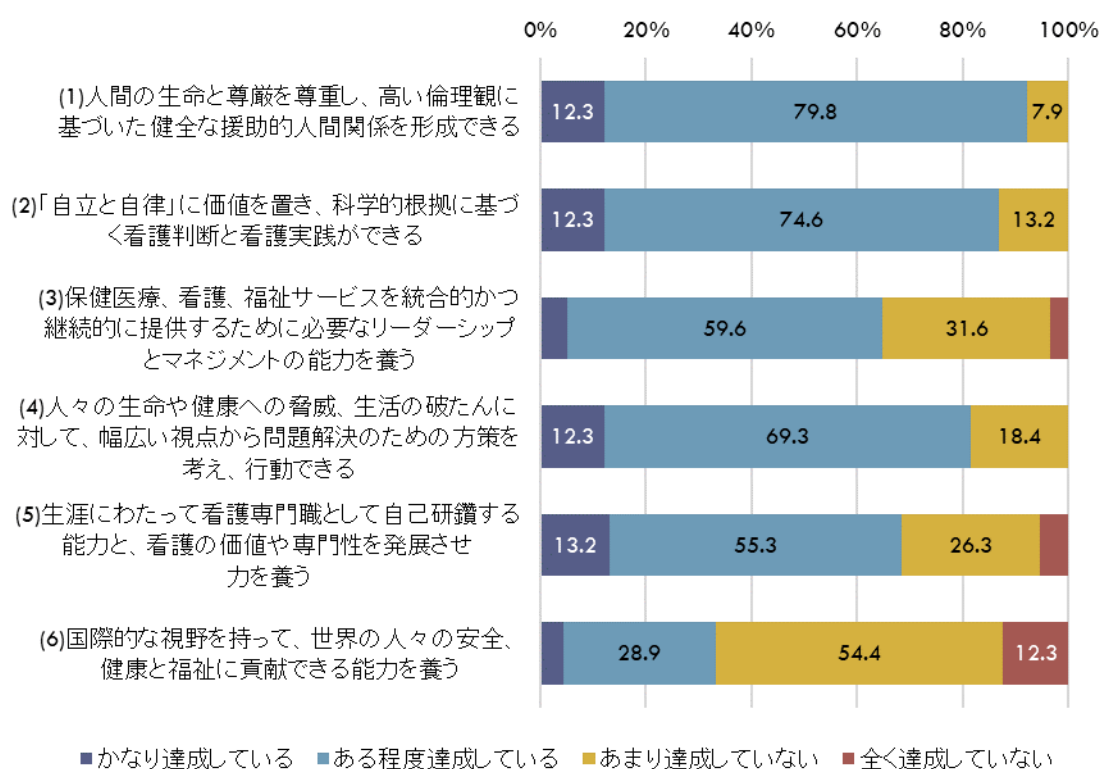
- ・ 献血。
- ・ 大腸癌検診推進のためのキャンペーンやイベント参加、地域のイベント手伝い。
- ・ 赤十字社ボランティア。
- ・ 選挙スタッフ。
- ・ 保護犬シェルターで、保護犬の世話
- ・ 募金、募金呼びかけ。

東京医科大学の教育について伺います

Q15. 以下は、「教育に関する卒業時到達目標」です。下記の内容について、現在、どの程度達成していますか。

全体としては、「かなり達成している」「ある程度達成している」の割合が最も高かったのは、「(1) 人間の生命と尊厳を尊重し、高い倫理観に基づいた健全な援助的人間関係を形成できる」であり、最も割合が低かったのは、「(6) 国際的な視野を持って、世界の人々の安全、健康と福祉に貢献できる能力を養う」だった。

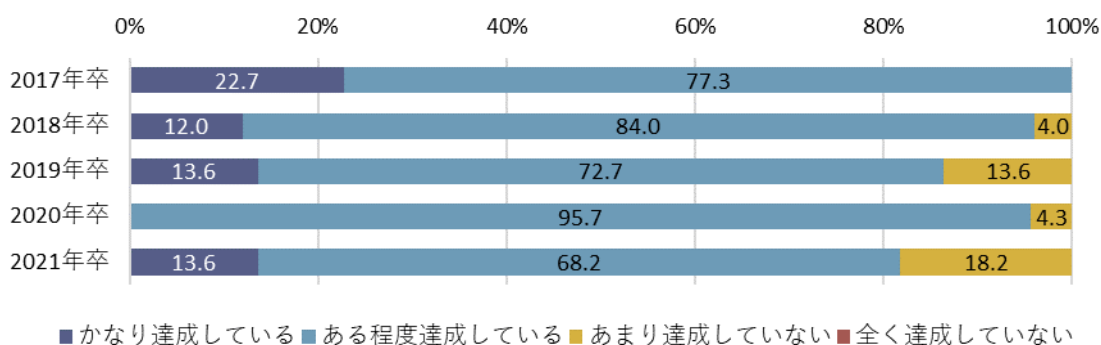
卒業年別にみると、「(1) 人間の生命と尊厳を尊重し、高い倫理観に基づいた健全な援助的人間関係を形成できる」及び「(4) 人々の生命や健康への脅威、生活の破たんに対して、幅広い視点から問題解決のための方策を考え、行動できる」は、「かなり達成している」「ある程度達成している」を合計した割合が、卒業年が新しくなるにつれて割合が低くなっている。



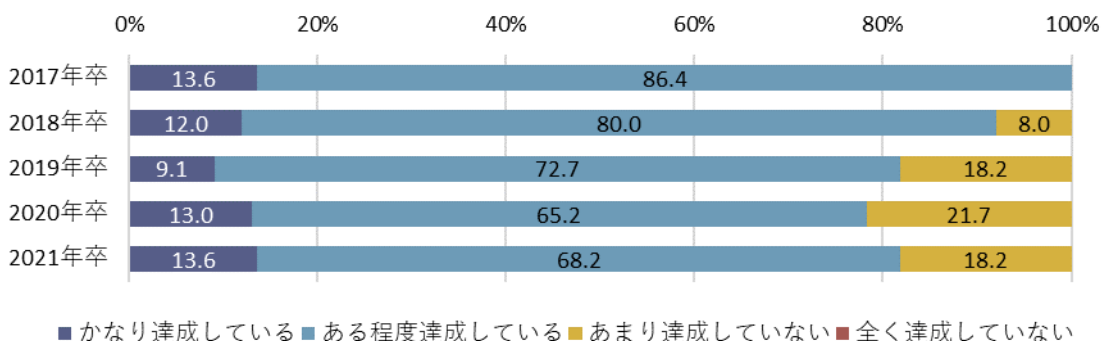
以下、到達目標ごとに、卒業年ごとの結果を示す。

「(1) 人間の生命と尊厳を尊重し、高い倫理観に基づいた健全な援助的人間関係を形成できる」、
 「(2) 「自立と自律」に価値を置き、科学的根拠に基づく看護判断と看護実践ができる」、「(4) 人々の生命や健康への脅威、生活の破たんに対して、幅広い視点から問題解決のための方策を考え、行動できる」、「(5) 生涯にわたって看護専門職として自己研鑽する能力と、看護の価値や専門性を発展させる力を養う」に関しては、卒業年が最近になるほど、「かなり達成している」「ある程度達成している」を合計した割合が低くなる傾向が見られた。

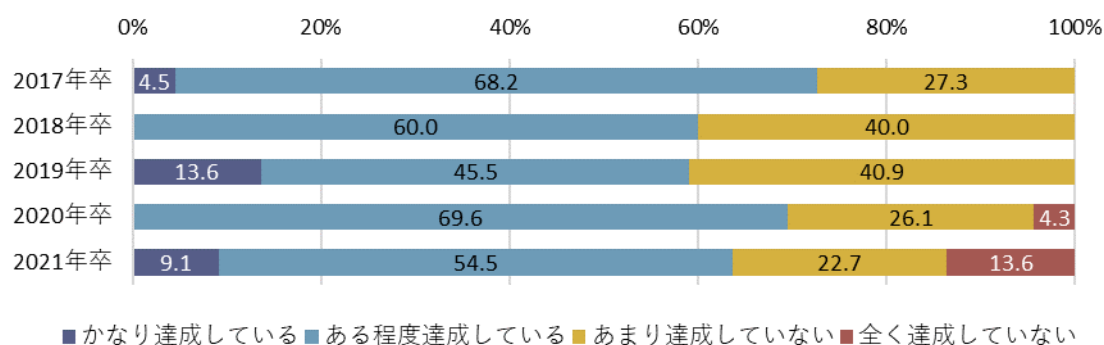
(1) 人間の生命と尊厳を尊重し、高い倫理観に基づいた健全な援助的人間関係を形成できる



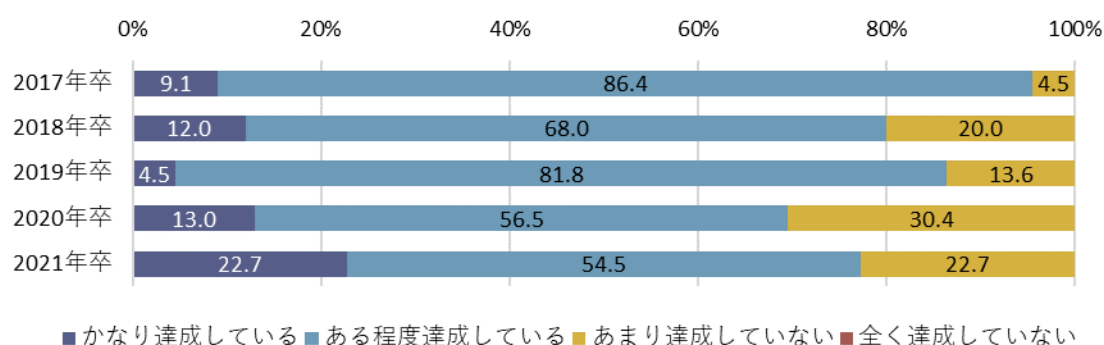
(2) 「自立と自律」に価値を置き、科学的根拠に基づく看護判断と看護実践ができる



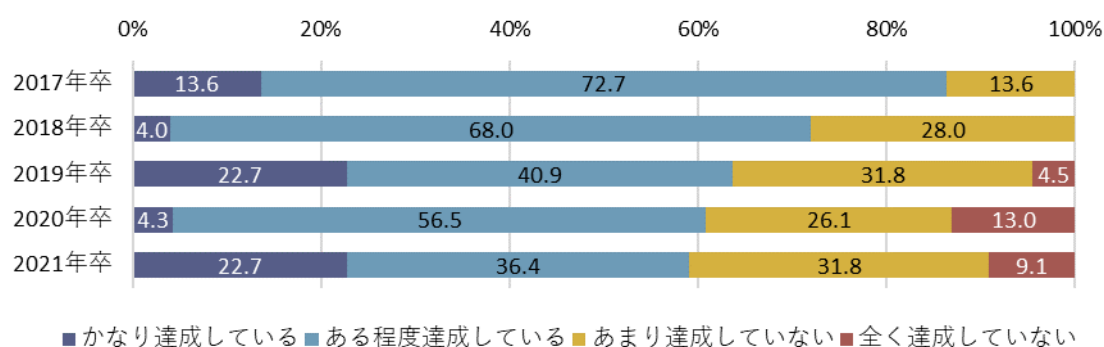
(3) 保健医療、看護、福祉サービスを統合的かつ継続的に提供するために必要なリーダーシップとマネジメントの能力を養う



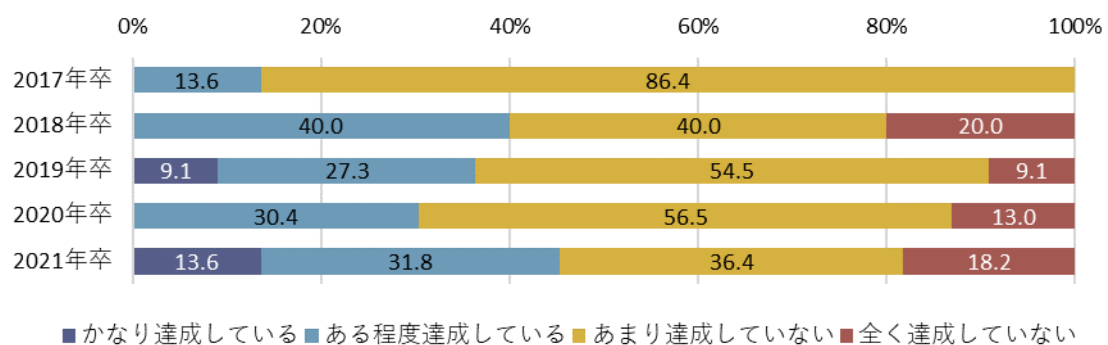
(4) 人々の生命や健康への脅威、生活の破たんに対して、幅広い視点から問題解決のための方策を考え、行動できる



(5) 生涯にわたって看護専門職として自己研鑽する能力と、看護の価値や専門性を発展させる力を養う



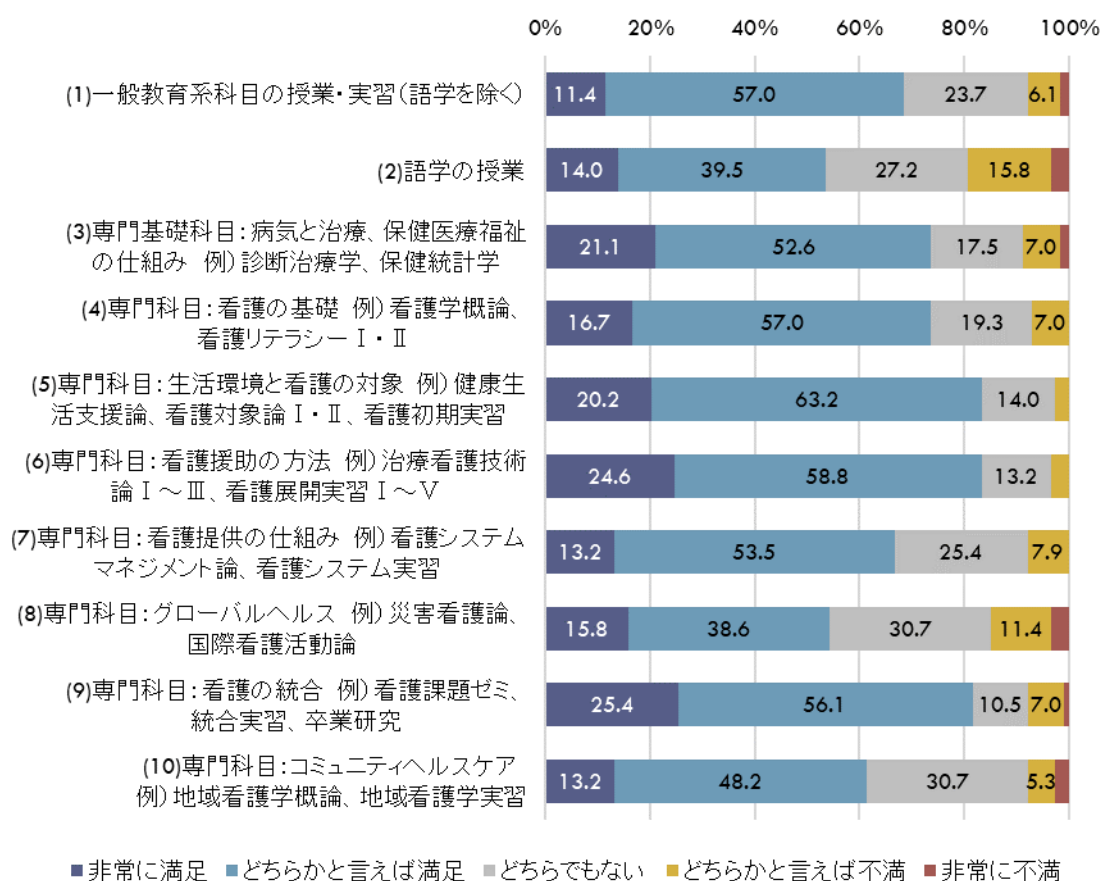
(6) 国際的な視野を持って、世界の人々の安全、健康と福祉に貢献できる能力を養う



Q16. カリキュラムの満足度はいかがでしたか。

全体としては、「非常に満足」「どちらかと言えば満足」の合計が8割を超えたものは、「(5) 専門科目：生活環境と看護の対象 例) 健康生活支援論、看護対象論Ⅰ・Ⅱ、看護初期実習」、「(6) 専門科目：看護援助の方法 例) 治療看護技術論Ⅰ～Ⅲ看護展開実習Ⅰ～Ⅴ」、「(9) 専門科目：看護の統合 例) 看護課題ゼミ、統合実習、卒業研究」であった。逆に「どちらかと言えば不満」「非常に不満」の合計が1割を超えたのは、「(2) 語学の授業」と「(8) 専門科目：グローバルヘルス 例) 災害看護論、国際看護活動論」であった。

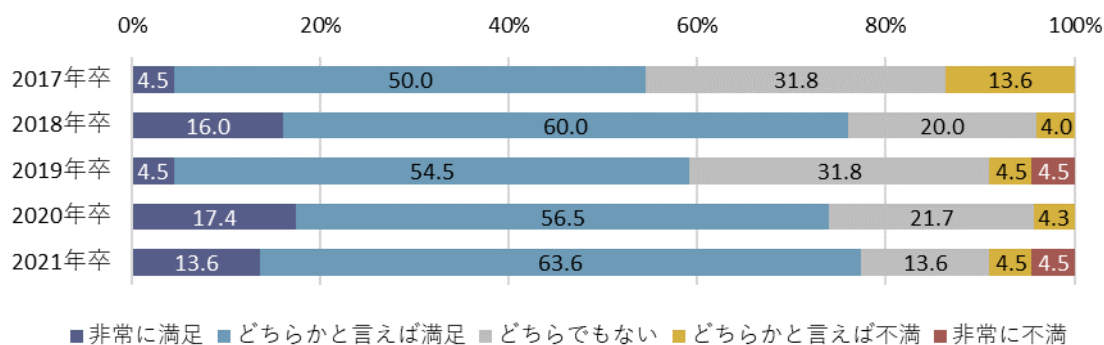
卒業年別にみると、年度によりばらつきあるものの、「(2) 語学の授業」、「(5) 専門科目：生活環境と看護の対象 例) 健康生活支援論、看護対象論Ⅰ・Ⅱ、看護初期実習」、「(7) 専門科目：看護提供の仕組み 例) 看護システムマネジメント論、看護システム実習」、「(10) 専門科目：コミュニティヘルスケア 例) 地域看護学概論、地域看護学実習」において、2017年から2020年は「非常に満足」の割合が徐々に高まっているが、2021年でその割合が低くなるという共通した傾向が見られた。



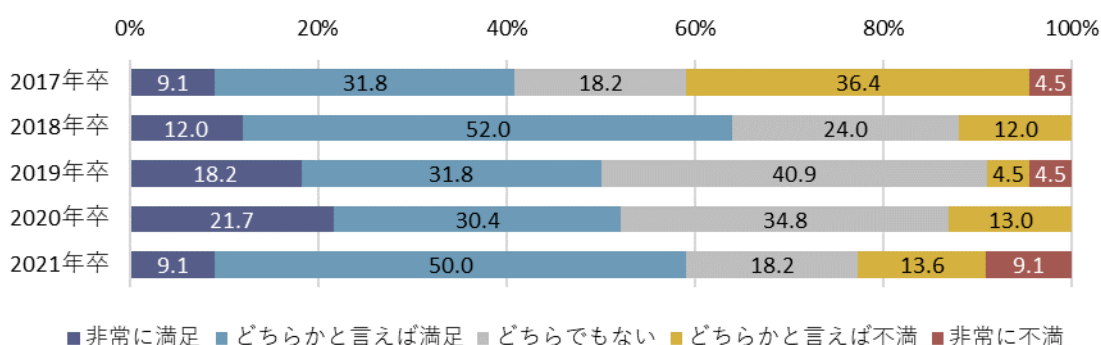
以下、カリキュラムの内容ごとに、卒業年ごとの結果を示す。

「(2) 語学の授業」、「(5) 専門科目：生活環境と看護の対象 例) 健康生活支援論、看護対象論 I・II、看護初期実習」、「(7) 専門科目：看護提供の仕組み 例) 看護システムマネジメント論、看護システム実習」、「(10) 専門科目：コミュニティヘルスケア 例) 地域看護学概論、地域看護学実習」に関しては、一部例外もあるが、卒業年が最近になるほど、「非常に満足」と回答した者の割合が高くなる傾向が見られた。

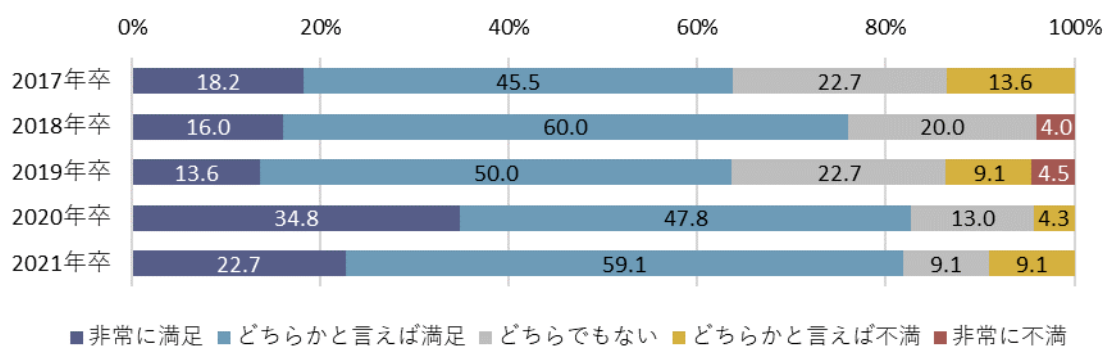
(1) 一般教育系科目の授業・実習（語学を除く）



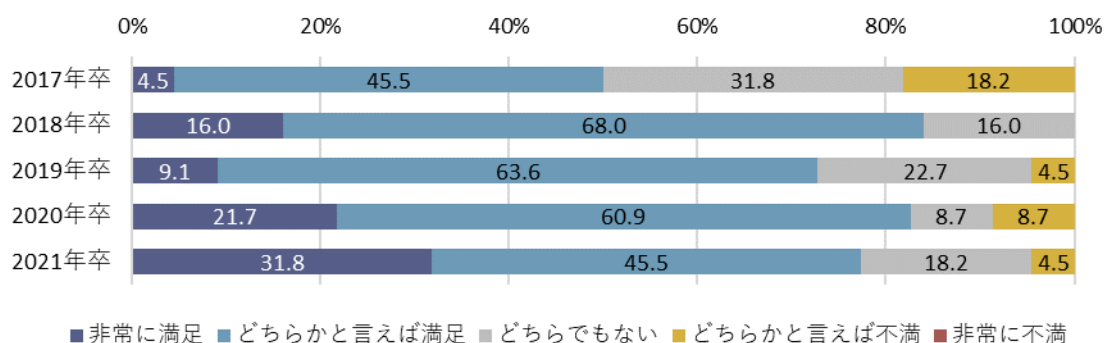
(2) 語学の授業



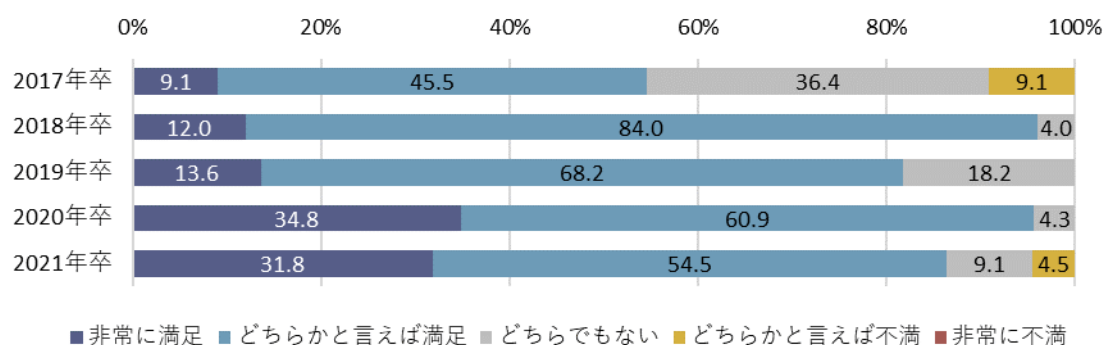
(3) 専門基礎科目：病気と治療、保健医療福祉の仕組み 例) 診断治療学、保健統計学



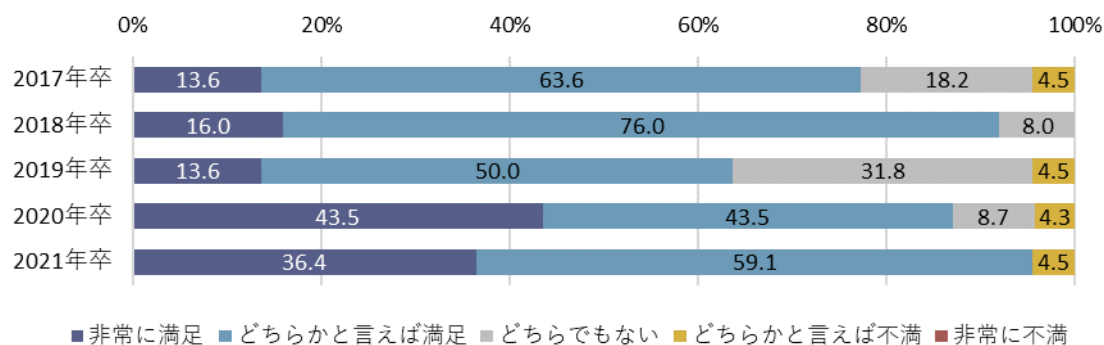
(4) 専門科目：看護の基礎 例) 看護学概論、看護リテラシー I・II



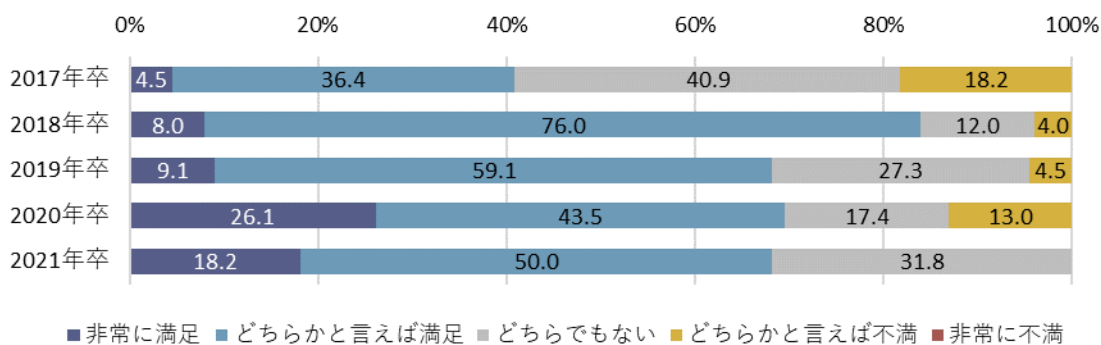
(5) 専門科目：生活環境と看護の対象 例) 健康生活支援論、看護対象論 I・II、看護初期実習



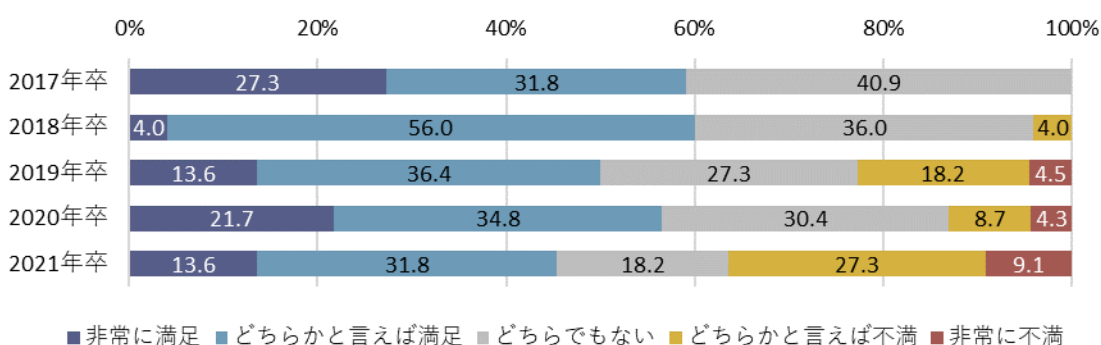
(6) 専門科目：看護援助の方法 例) 治療看護技術論 I～III、看護展開実習 I～V



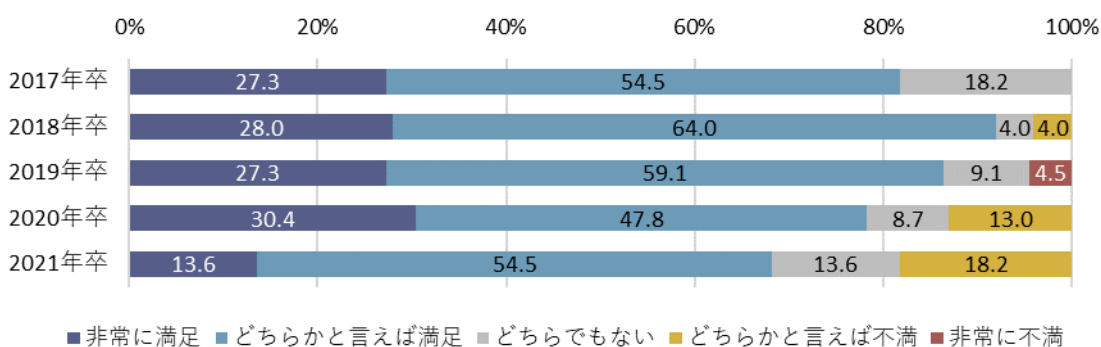
(7) 専門科目：看護提供の仕組み 例) 看護システムマネジメント論、看護システム実習



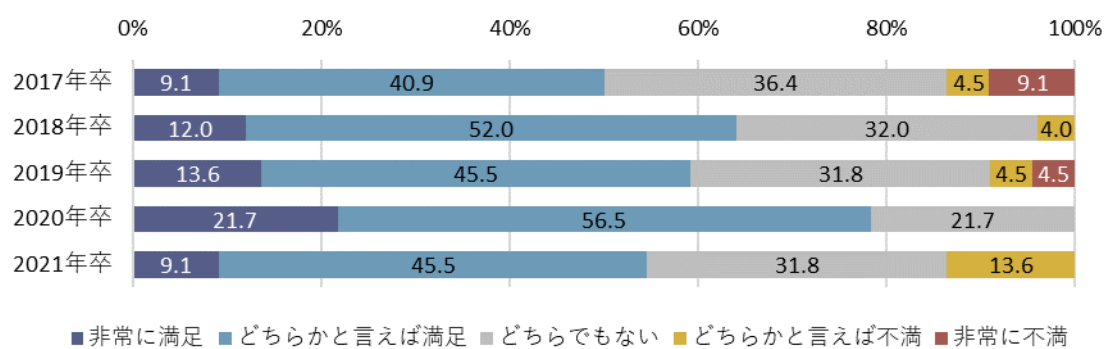
(8) 専門科目：グローバルヘルス 例) 災害看護論、国際看護活動論



(9) 専門科目：看護の統合 例) 看護課題ゼミ、統合実習、卒業研究



(10) 専門科目：コミュニティヘルスケア 例) 地域看護学概論、地域看護学実習



Q17. そのほか、カリキュラムや科目について意見があれば聞かせてください。

●具体的な科目等

<改善点>

- ・ 保健師課程・科目：保健師を取得するための方法に一貫制がなかった。実習内容として、学校や産業保健の実習も欲しかった。カリキュラムの未確立が目立った（2017年卒）。
- ・ 1期生の授業全般：探り探りの授業であることが学生に伝わり、不安であった。
- ・ 災害看護や救命救急：より内容を充実させて欲しかった。
- ・ 外国語：もう少し力を注いで欲しかった。
- ・ 医学科医師による講義：内容量が多く、発展的な内容で難しかった。より基礎的なことが必要だと感じていた。

<良かった点>

- ・ 実習・演習授業：全般的に満足度が高い。
- ・ 授業形態：ディスカッションで進める授業が多く、卒後も役に立っている。
- ・ 医学科医師による講義：難しい内容だったが、充実していた。

●実習

<改善点>

- ・ 精神的・身体的なストレス（記録が多いことで睡眠時間が取れない、指導者の質にばらつきがある、教員が指導者の立場に立ってしまうこと）。
- ・ 実習先による実習内容の格差があった。実習内容や評価方法を均質にして欲しい。
- ・ より実践的な内容を望む：より現場で様々な体験をすることで、実践的なことを学べると思う。
- ・ 先輩や教員の体験談をより多く聴ける機会が欲しい。
- ・ 現場では電子カルテにもかかわらず、実習記録が手書きなのは改善して欲しい。

<良かった点>

- ・ 他学に進学して、東京医大は他の教育機関と比較して実習で体験できることの幅が広いことを知った。

●設備や情報環境

<改善点>

- ・ iPadの教材をほとんど使わなかったこと。費用もかかっており、より多く活用して欲しい。

●教員

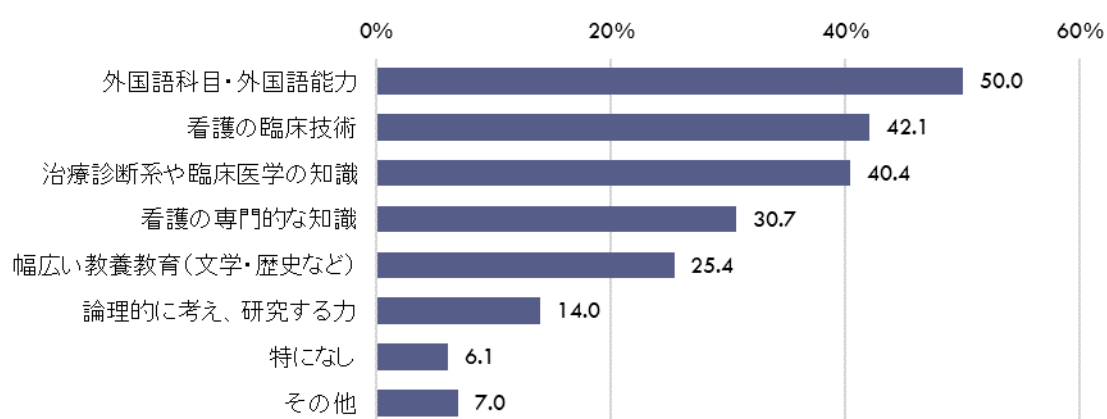
<改善点>

- ・ 教員による評価方法のばらつき、個人的な好みが目立った。
- ・ 卒業研究など教員と学生がじっくりかかわる機会において、教員から学生に対して、将来を否定するような言葉かけがあった。

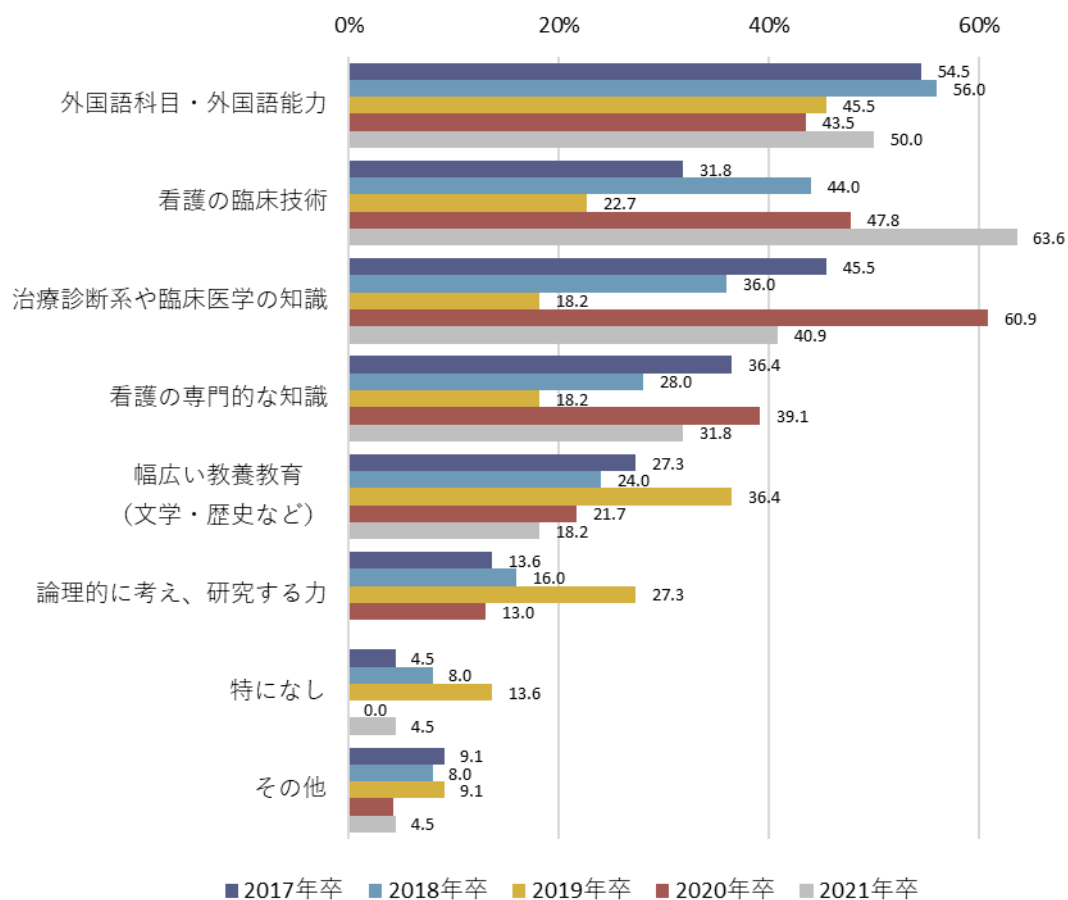
Q18. 在学中にもっと学んでおけば良かった、身につけておけば良かったことはどのようなことですか。(複数選択)

全体としては、割合が最も高いのが「外国語科目・外国語能力」であり、次いで、「看護の臨床技術」であった。

卒業年度別にみると、年度により大きなばらつきがあるが、例えば卒後一年目の2021年卒業生については、「看護の臨床技術」が最も高く6割以上がもっと学んでおけば良かった・身につけておけば良かったと感じている。



以下、卒業年ごとに示す。

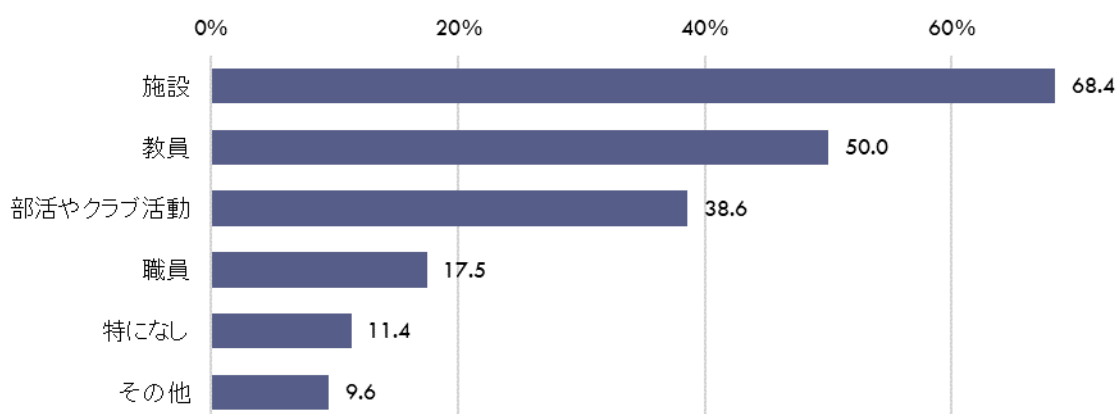


- ・ 「その他」と回答した人の自由記述 (具体的に)：メンタルヘルス (3)、病態生理、看護の専門知識や技術の習得、リーダー論やマネジメント、宗教学・死生学、災害看護、統計学、マーケティング、実際に就職されている人からの話をもっと聞きたかった

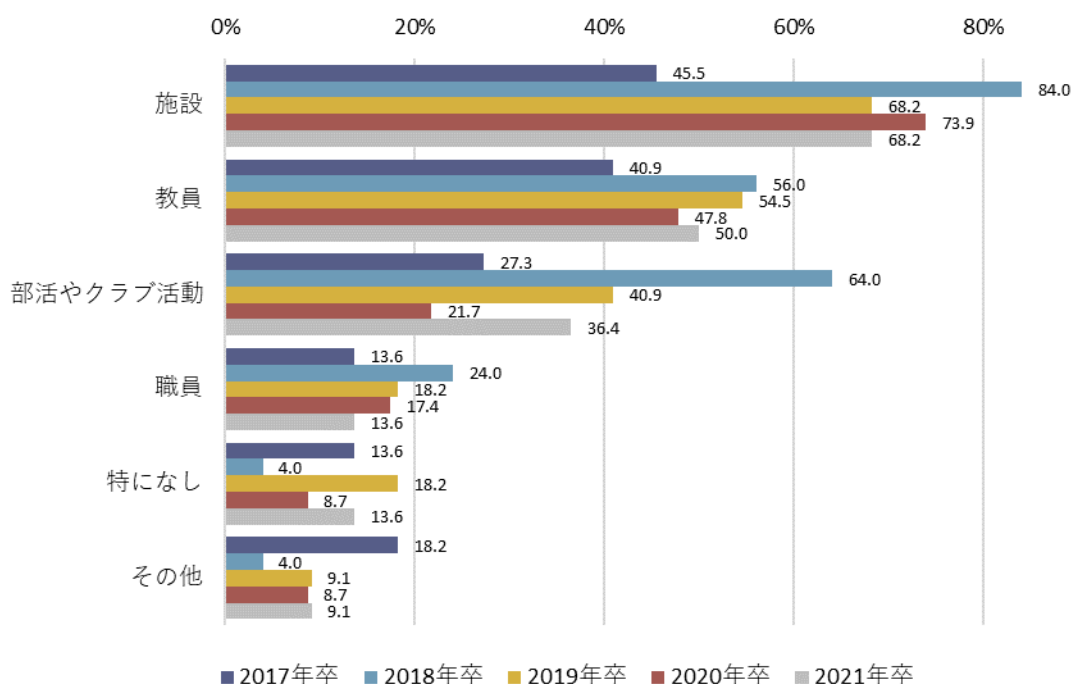
Q19. 現在、東京医科大学医学部看護学科を振り返って、良かったと思う点について教えてください。（複数選択）

全体としては、良かったと思う者の割合が高い順に、「施設」、「教員」、「部活やクラブ活動」、「職員」であった。

卒業年別でみると、第1看護学科棟ができていなかった2017年卒業生に関しては、良かったと思う点に「施設」を挙げた者の割合が低い。また、2018年卒業生（2期生）は、全ての項目に関して、他の卒業年の者よりも良かったと思う点として挙げた割合が高かった。



以下、卒業年ごとに示す。



「施設」について良かったと思う点（具体的に）

●学習環境全般

- ・ 看護学科棟がきれい・清潔だった。(27)
- ・ 学習環境が整っていた。(2)

●シミュレーターや演習室

- ・ シミュレーターが充実しており、臨床に近い状況で看護を学べた。(9)
- ・ 実習室の設備が整っていた。(4)

●PC や周辺機器

- ・ PC の台数が豊富で課題をやりやすかった。(3)

●キャンパスのサイズや立地

- ・ アクセス面やプライベートが充実する新宿にあることなど、立地が良かった。(14)
- ・ キャンパス内がコンパクトで移動しやすかった。

●附属病院がある

- ・ 附属病院で実習を行えた。(2)

●トイレ

- ・ トイレが清潔で、数が多かった。(3)

●図書館や自習室

- ・ ゼミ室 (413 号)、図書館の自習室、食堂などを自由に使えた。(5)

「教員」について良かったと思う点（具体的に）

●親切・優しい・熱心

- ・ 親切・優しい。(5)
- ・ 親身になってくれた、相談しやすかった。(6)
- ・ 熱心に指導してくれた。(4)

●担任制

- ・ 担任制が整えられており、学生一人一人に手厚く学習や生活面の支援をしてくれた (9)。

●授業の分かりやすさ・専門性

- ・ 授業が分かりやすかった。専門的な知識を分かりやすく教えてくれた。(3)
- ・ 科目における専門性が高かった。

●授業の進め方

- ・ グループワーク中、各グループに気を配っていた。
- ・ 講義・演習後、学生の中に疑問を残さないよう配慮してくれていた。
- ・ いつでも気兼ねなく相談することのできる雰囲気作りをしていていた。

●卒業後のつながり

- ・ 卒業後にも連絡を取り合っている・気さくに相談ができる。

- ・ 就職先に実習に来ている教員が、わざわざ勤務病棟まで来て声をかけてくれるなど、気にかけてくれる。

「職員」について良かったと思う点（具体的に）

- ・ 親切・優しい。(5)
- ・ 親身になってくれた。(3)
- ・ 丁寧に対応してくれた。(4)
- ・ 話しかけやすかった。(2)
- ・ 手続きなど細かいところに対応してくれた。
- ・ 清潔感があった。
- ・ 迅速に対応してくれた。

「部活やクラブ活動」について良かったと思う点（具体的に）

●人との交流

- ・ 医学科と交流ができた。(11)
- ・ 卒業後もつながりがある。(6)
- ・ 看護学科内の先輩後輩、専門学校の人と交流できた。(5)
- ・ 他大学や他学部、地域の方などと交流し、人間関係が広がった。(4)

●活動を通じてコミュニケーション能力がついた (3)

●楽しかった・学校生活が豊かになった (4)

(その他のコメント)

- ・ 自由に使える部室があった。
- ・ 部活数が多く選択肢が広がった。
- ・ 良い気分転換になった。
- ・ 制限なく自由な部活活動ができた。
- ・ 授業に支障のない範囲での活動ができた。

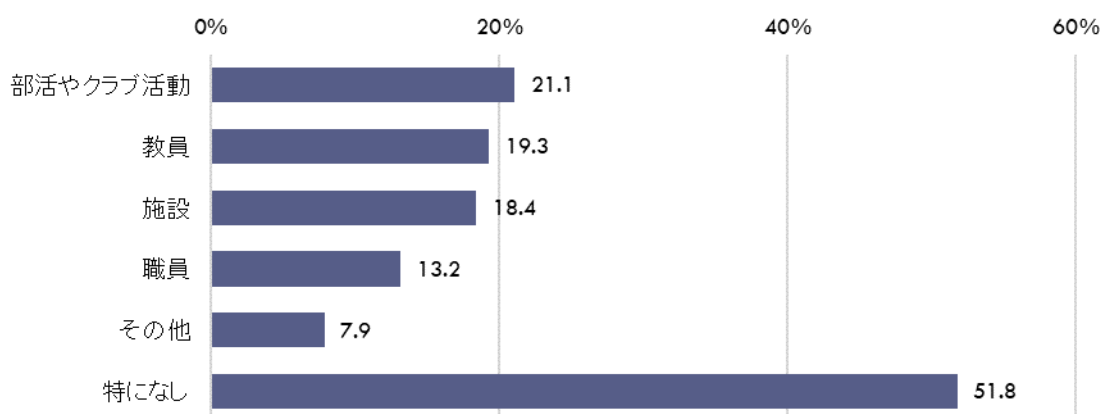
「その他」、看護学科を振り返ってよかったと思う点（具体的に）

- ・ 友人関係が良かった。(4)
- ・ 保健師コースがあった。
- ・ 気にかけてくれる先生、学務課など、良い教職員に出会えたこと。
- ・ 専門知識をワクワク楽しく教えてくださった医学科の先生、外部の先生が良かった。

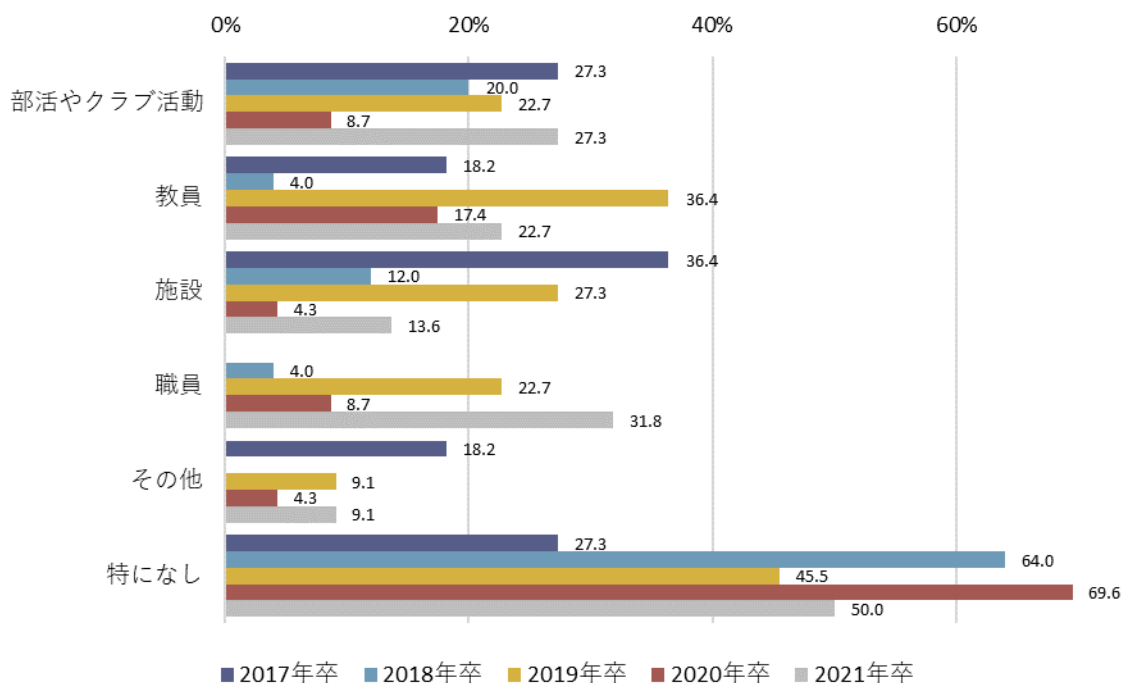
Q20. 現在、東京医科大学医学部看護学科を振り返って、改善すべきと思う点について教えてください。（複数選択）

全体としては、改善すべきと思う者の割合が高い順に、「部活動やクラブ活動」、「教員」、「施設」、「職員」という結果だったが、改善すべき点は「特になし」と回答した人も全体の5割を超えた。

卒業年別でみると、第1看護学科棟ができていなかった2017年卒業生（1期生）に関しては、改善すべきと思う点に「施設」を挙げた者の割合が高かった。



以下、卒業年度ごとに示す。



「施設」についての改善点（具体的に）

- ロッカーが遠い（2）休み時間に行き来することがほとんど不可能だった。
- パソコンや印刷機（2）
 - ・ 印刷機を自由に使えず困った。
 - ・ パソコンや印刷機の不具合や、ネット接続が悪いといった環境面に課題があった。
- 自習環境（6）
 - ・ 自習室に私物が多く、学生同士の私語も多くて、自習できる環境でなかった。
 - ・ 自習環境が医学科に比べて劣っていた。
 - ・ グループワークや少人数での勉強など、小部屋があると良かった。
 - ・ キャンパスの使用時間の制限をなくしてほしい（他大では 24 時間使える教室が多い）。
- 清潔面（2）
 - ・ 全体的に清潔感に欠けていて不快だった。
- その他の施設・設備等
 - ・ 教室内の冷暖房の調節が十分に出来なかった。
 - ・ iPad を配布しているのに学内で充電すると怒られる点は改善してほしい。
 - ・ 図書館が気軽に使いづらかった。
 - ・ エレベーターは学生も使用して良いと思う。
 - ・ 看護専門学校の施設内の環境が改善されると良い。
 - ・ 学食をもう少し充実させて欲しい。
 - ・ シュミレーションセンターが活用されていなかった。
 - ・ 一期生で、設備を活かしきれってなかった。

「教員」についての改善点（具体的に）

- 全般的な改善点
 - ・ 学生の立場でものを考え、指導してほしい。（2）
 - ・ 教える方法について、改善の余地がある。（2）
 - ・ 学生への言葉かけについて、否定的な発言が見られることがあった。
- 実習
 - ・ 実習の時のみ担当になる教員とはあまりコミュニケーションが取れなかった。
- その他
 - ・ 新規採用の教員の講義技術や評価方法に課題があると思った。新教員への研修を充実してほしい。
 - ・ 教員は、経歴や論文数だけでなく、教育的な技術を判断して採用してほしい。
 - ・ 教員の質のばらつきが気になった。

「職員」についての改善点（具体的に）

- ・ 他大に進学して、東医の看護学科の職員の方たちは人数が限られており、手が回っていないことが多かったように思う。
- ・ もっと学生に寄り添い、ポジティブな態度で接して欲しい。
- ・ 事務的な対応が遅いことがあった。
- ・ 臨機応変に対応してくれないことがあった。

「部活」についての改善点（具体的に）

●活動における制限

- ・ 活動が少ない。(2)
- ・ 運動部のほとんどの部活で、看護学科の学生はプレイヤーになれないといった体制は改善した方が良い。
- ・ 看護学科が入れない部活があるのが気になった。
- ・ 女性向きの部活やクラブを充実させて欲しい。
- ・ 看護学科の学生が部活を作りたいと思った時に作れる仕組みにして欲しい。

●医学科との関係や金銭面

- ・ お金がかかりすぎる。(2)
- ・ 活動をする中での医学科生との格差を感じた。高額な強制参加の飲み会などは、改善の余地がある。
- ・ 医学科と一緒にいてもいいが、医学科の品性が低レベルすぎる。
- ・ 将来医療者となる自覚を持ち、もっと節度をもって活動するべきだと感じていた。

●その他

- ・ 一般大学とは異なる雰囲気だった。
- ・ 外部との交流ができたり、視野が広がったりと経験にプラスとなる活動がより組み込まれると、さらに学生生活が充実すると思う。

「その他」看護学科を振り返って、改善すべきと思う点（具体的に）

●人間関係

- ・ 医療者として人間性を疑う学生が多かった。

●設備や機器類

- ・ iPad を配布されたが、活用できていなかった。
- ・ 自習室がさらに多く整備されているとより良いと思った。
- ・ PC 質で飲食をする人がいることについて、大学として改善策を講じて欲しい。

- ・ コピー用紙や文房具の貸し出し禁止について、学費を払っているのに、必要なものは貸し出しするなど、改善してほしい。

●授業やカリキュラム

- ・ チーム医療につなげるために、医学科と連携した授業を作ってほしい。

●実習

- ・ 実習での患者さんとの関わりが少なく、学生が病棟で記録等を行っている時間が多い（就職して実習している学生を見てそう思った）。

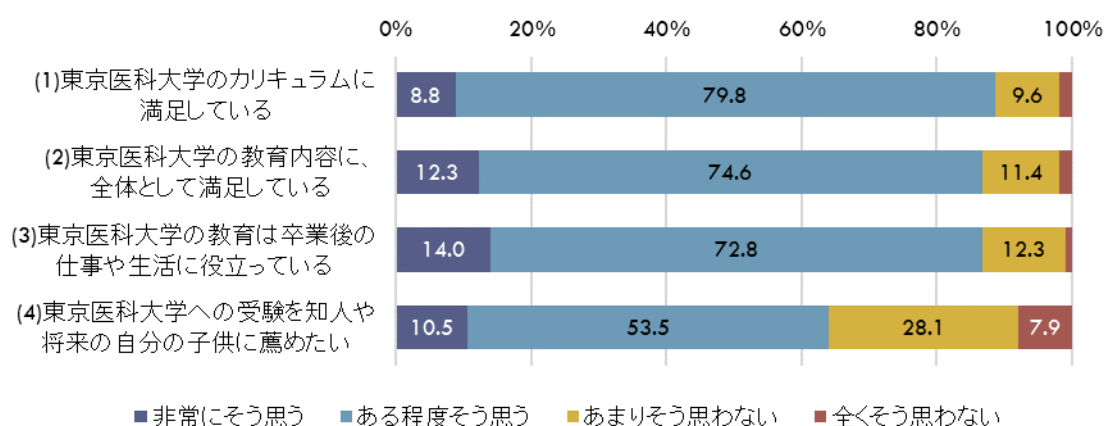
●その他

- ・ 学務課の業務について、もう少し柔軟に対応して頂いても良いのではと思うことがあった。閉まる時間も早く、不便が多かった。

Q21. 現在、東京医科大学医学部看護学科を振り返って、総合的にどのように感じていますか。

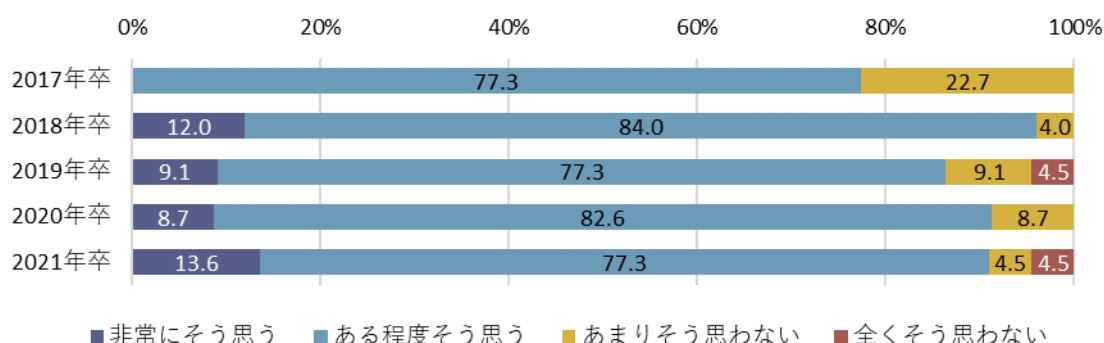
全体としては、「(1) 東京医科大学のカリキュラムに満足している」、「(2) 東京医科大学の教育内容に、全体として満足している」、「(3) 東京医科大学の教育は卒業後の仕事や生活に役立っている」について、「非常にそう思う」「ある程度そう思う」を合計した割合が85%を超えた。一方で、「(4) 東京医科大学への受験を知人や将来の自分の子供に薦めたい」については、「非常にそう思う」「ある程度そう思う」を合計した割合が、64.0%にとどまった。

卒業年別にみると、年度によりばらつきがあるが、2017年卒業生（1期生）は、「(1) 東京医科大学のカリキュラムに満足している」「(2) 東京医科大学の教育内容に、全体として満足している」「(4) 東京医科大学への受験を知人や将来の自分の子供に薦めたい」について、「非常にそう思う」「ある程度そう思う」を合計した割合が他の卒業年に比べて最も低かった。

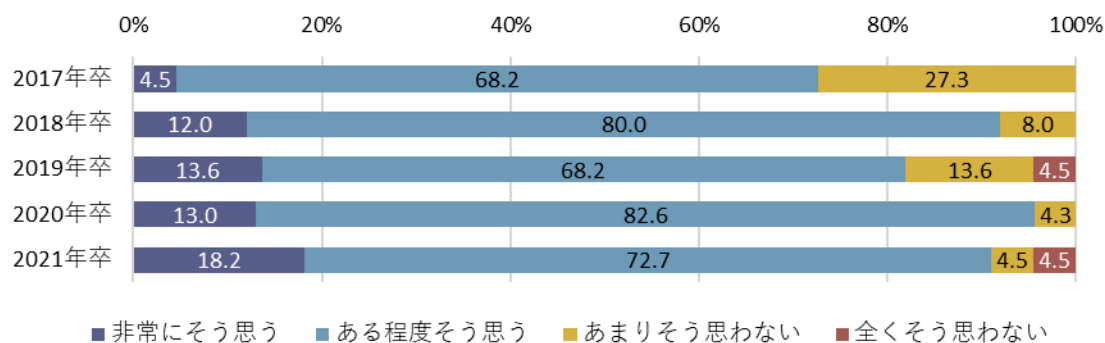


以下、項目ごと、卒業年ごとに示す。

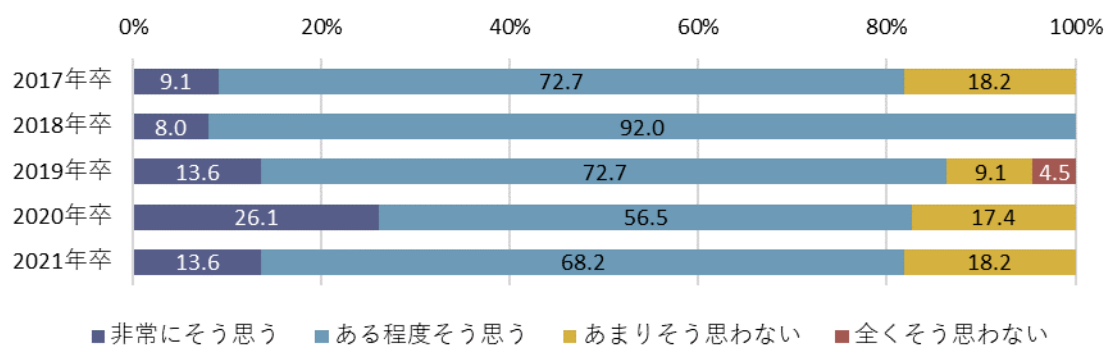
(1)東京医科大学のカリキュラムに満足している



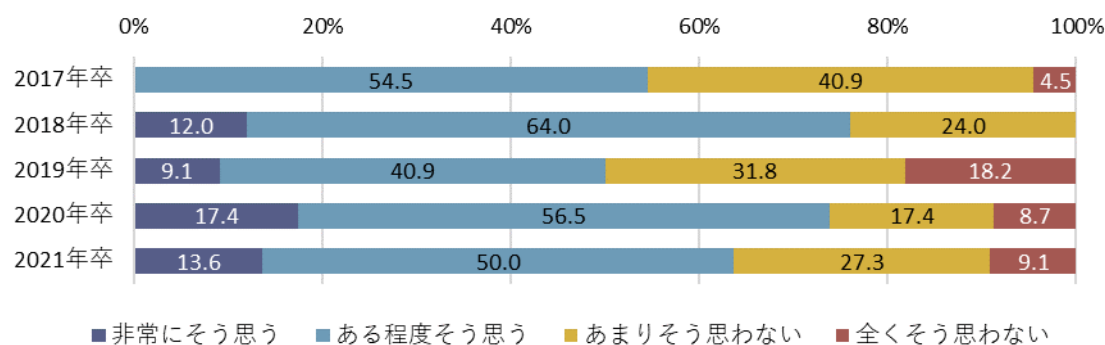
(2)東京医科大学の教育内容に、全体として満足している



(3)東京医科大学の教育は卒業後の仕事や生活に役立っている



(4)東京医科大学への受験を知人や将来の自分の子供に薦めたい



Q22. 東京医科大学の教育をより良くするためのご意見、または、東京医科大学へのご要望等を自由にご記載ください。

●良かった点

- ・ 西新宿の附属病院で働いていると、教員に会えて、仕事を頑張ろうと思える。
- ・ 1年生の基礎疾患の授業は医師の講義で非常に分かりやすかったし、臨床においてとても役に立っている。

●カリキュラムや科目、授業体制について

- ・ 安定したカリキュラムになってほしい (2017年卒)。
- ・ 選択科目などで、専門的な看護学分野の選択できる幅があると更によくなると思う。
- ・ 海外との交流などがあると良かった。
- ・ 看護実習の日数を減らさないでほしい。
- ・ 就職してから、大学で学んでいないことが多いと気づくことが多かった。大学で学んだことが必要な看護の基礎知識であったのか、疑問に感じることもあった。
- ・ コロナ禍で制限も多いが、より学生が主体的に学ぶことができるような参加型の教育体制を多く取り入れてもいいのではないかと考える。

●オンライン授業

- ・ オンライン授業動画に閲覧期限があり、動画を見返せないようになっていたことは不満だった。
- ・ 動画を視聴したことで出席になるという条件なら、学生自身が最後まで視聴できたことを確認できる仕組みが必要である。

●キャリア支援

- ・ 看護は病院の臨床が重視されるが、それ以外で活躍している人からの話を聞く機会が多くあることで、早いうちから様々な選択肢から進路を選べると思う。

●設備面

- ・ 体育館が滑りやすい。
- ・ なぜ学生はエレベーターを使ってはいけないのか分からない。

●ペーパーレス化

- ・ 授業で必ず必要な資料は、学生に印刷させるべきではない。
- ・ レポートを紙媒体で提出させるのに、印刷用紙の枚数に制限をかけることは改善して欲しい。使用できるコピー用紙に制限をかけることが学生の学びに繋がるのか疑問だった。

●学費や諸費用

- ・ 新宿駅からの交通費の支給して欲しい。
- ・ 学費が高いので、成績が優秀な学生の学費減額などの対応を考えて欲しい。
- ・ 学費が高く、コストパフォーマンスが悪いように感じる。

●教員について

- ・ 新人教員の教育・研修を行って欲しい。

- ・ 学生に対して誠実な態度で接して欲しい。
- ・ 質のいい教員集めに尽力して欲しい。
- ・ 学生と共にお互いが寄り添って、自主自学の理念に基づき自律していける教育機関であって欲しい。

●学生について

- ・ 質のいい学生集めを頑張ってもらって欲しい。
- ・ 自由と規律をしっかりと見極められる学生であって欲しい。
- ・ 学生が、のびのびと学生らしく充実した生活を送れる学生が増えるように願う。

●その他

- ・ 大きな問題を起こさず、名前を出しても恥ずかしくない大学になって欲しい。
- ・ 学びの場として外に開かれた場所であって欲しい。

4. まとめ

本アンケートは、2021年3月までに卒業した全卒業生を対象としている。卒業生からのフィードバックは教育の改善に重要である。回答では、多くの忌憚のないご意見とともに叱咤激励のコメントもいただいた。調査をまとめるに当たり、回答してくださった卒業生のご意思を反映させられるよう努めた。

① 回答数

送付数 447 のうち 114 の回答が得られた。回収率 28.1%であり、卒業年別ではいずれの卒業年も 20%前後と均等に分布していた。卒業生の実態を把握するには、今後さらに回収率を高める方策を検討する必要がある。

② 卒業後のキャリア

卒業直後は、全体として 88.6%が就職しており、進学する者も 10.5%いた。一学年における東京医科大学病院（西新宿）への就職割合は、年々増加している。卒業直後に就職した者について全体では 72.3%が同じ勤務先にいたが、5年前に就職した 2017 年卒は、同じ所に就職しているのが半数であった。また、卒業直後に進学した者の多くは、その後助産師として勤務していた。

③ 教育の評価

6 個の卒業時教育到達目標に関しては、「(1) 人間の生命と尊厳を尊重し、高い倫理観に基づいた健全な援助的人間関係を形成できる」が全体として最も達成度が高く、「(6) 国際的な視野を持って、世界の人々の安全、健康と福祉に貢献できる能力を養う」が最も達成度が低かった。

カリキュラムの満足度に関しては、「(5) 専門科目：生活環境と看護の対象 例) 健康生活支援論、看護対象論 I・II、看護初期実習」、「(6) 専門科目：看護援助の方法 例) 治療看護技術論 I～III看護展開実習 I～V」、「(9) 専門科目：看護の統合 例) 看護課題ゼミ、統合実習、卒業研究」に関して、全体での満足度（「非常に満足」「どちらかと言えば満足」の合計）が 8 割を越えた。逆に、「どちらかと言えば不満」「非常に不満」の合計が 1 割を超えたのは、「(2) 語学の授業」と「(8) 専門科目：グローバルヘルス 例) 災害看護論、国際看護活動論」であった。

「在学中にもっと学んでおけば良かったこと」は、もっとも回答者の割合が高かったものは「外国語科目・外国語能力」であり、次が「看護の臨床技術」であった。

④ 母校の良かった点、改善すべき点、総合的評価

母校の良かった点に関しては、回答が多かった順に、「施設」、「教員」、「部活やクラブ活動」、「職員」であった。

改善すべき点に関しては、回答が多かった順に、「部活動やクラブ活動」、「教員」、「施設」、「職員」だったが、改善すべき点は「特になし」と回答した人も全体の 5 割を超えた。

東京医科大学への総合的評価については、「(1) 東京医科大学のカリキュラムに満足している」、

「(2) 東京医科大学の教育内容に、全体として満足している」、「(3) 東京医科大学の教育は卒業後の仕事や生活に役立っている」について、「非常にそう思う」「ある程度そう思う」を合計した割合が 85%を超えた。一方で、「(4) 東京医科大学への受験を知人や将来の自分の子供に薦めたい」については、「非常にそう思う」「ある程度そう思う」を合計した割合が、64.0%にとどまった。

<資料>

1. 卒業生アンケート質問票

1. 卒業生アンケート質問票

1. あなたの卒業年を教えてください。

1. 2016年度(2017年3月卒業)
2. 2017年度(2018年3月卒業)
3. 2018年度(2019年3月卒業)
4. 2019年度(2020年3月卒業)
5. 2020年度(2021年3月卒業)

Q2. 性別を教えてください。

1. 男性
2. 女性
3. 回答なし

Q3. 卒業直後の進路を教えてください。

1. 就職した
2. 進学した(具体的な進学先名:)
3. それ以外(具体的に:)

分岐 : Q3 = 1 と回答した人は Q4 へ、 Q3 = 2 もしくは 3 と回答した人は Q9 へ

<卒業直後に就職した方に伺います>

Q4. 卒業直後の就職先はどちらですか。

1. 東京医科大学病院(西新宿)
2. 茨城医療センター
3. 八王子医療センター
4. それ以外(具体的な勤務先名:)

Q5. 卒業直後の業務上の職種を教えてください。

1. 看護師
2. 保健師
3. 養護教諭
4. その他(具体的に:)

Q6. 卒業直後の雇用形態を教えてください。

1. 常勤
2. 非常勤
3. その他(具体的に)

Q7. 現在も同じ所に勤務していますか。

1. している
2. していない

Q8. 勤続年数を教えてください。

1. 1年未満
2. 1年以上2年未満
3. 2年以上3年未満
4. 3年以上

<現在の状況について伺います>

Q9. 現在の状況を教えてください。

1. 勤務をしている(具体的な勤務先名:)
2. 進学している(具体的な進学先名:)
3. その他(具体的に:)

分岐 : Q9=1 と回答した人は Q10 へ、 Q9=2 もしくは 3 と回答した人は Q13 へ

Q10. 現在の業務上の職種を教えてください。

1. 看護師
2. 保健師
3. 助産師
4. 養護教諭
5. その他(具体的に)

Q11. 現在の雇用形態を教えてください。

1. 常勤
2. 非常勤
3. その他(具体的に)

Q12. 現在の所属先の勤続年数を教えてください。

1. 1年未満
2. 1年以上2年未満
3. 2年以上3年未満
4. 3年以上

<ここから全ての方に伺います>

Q13. 卒業して社会に出たことで、“医療職として社会に貢献するという意識”は変化しましたか。

5. 大いに变化した
4. ある程度变化した
3. どちらでもない
2. あまり変化しなかった
1. 全く変化しなかった

Q14. 卒業してから今まで、ボランティア活動や社会貢献活動に参加しましたか。具体的に教えてください。

<東京医科大学医学部看護学科での教育について伺います>

Q15. 以下は、「教育に関する卒業時到達目標」です。下記の内容について、現在、どの程度達成していますか。

- ① 人間の生命と尊厳を尊重し、高い倫理観に基づいた健全な援助的人間関係を形成できる
- ② 「自立と自律」に価値を置き、科学的根拠に基づく看護判断と看護実践ができる
- ③ 保健医療、看護、福祉サービスを統合的かつ継続的に提供するために必要なリーダーシップとマネジメントの能力を養う
- ④ 人々の生命や健康への脅威、生活の破たんに対して、幅広い視点から問題解決のための方策を考え、行動できる
- ⑤ 生涯にわたって看護専門職として自己研鑽する能力と、看護の価値や専門性を発展させ力を養う
- ⑥ 国際的な視野を持って、世界の人々の安全、健康と福祉に貢献できる能力を養う

4. かなり達成している
3. ある程度達成している
2. あまり達成していない
1. 全く達成していない

Q16. カリキュラムの満足度はいかがでしたか。

- ① 一般教育系科目の授業・実習(語学を除く)
- ② 語学の授業
- ③ 専門基礎科目:病気と治療、保健医療福祉の仕組み 例)診断治療学、保健統計学
- ④ 専門科目:看護の基礎 例)看護学概論、看護リテラシー I・II
- ⑤ 専門科目:生活環境と看護の対象 例)健康生活支援論、看護対象論 I・II、看護初期実習
- ⑥ 専門科目:看護援助の方法 例)治療看護技術論 I～III、看護展開実習 I～V
- ⑦ 専門科目:看護提供の仕組み 例)看護システムマネジメント論、看護システム実習
- ⑧ 専門科目:グローバルヘルス 例)災害看護論、国際看護活動論
- ⑨ 専門科目:看護の統合 例)看護課題ゼミ、統合実習、卒業研究
- ⑩ 専門科目:コミュニティヘルスケア 例)地域看護学概論、地域看護学実習

5. 非常に満足
4. どちらかと言えば満足
3. どちらでもない
2. どちらかと言えば不満
1. 非常に不満

Q17. そのほか、カリキュラムや科目についてご意見があれば聞かせてください。

Q18. 在学中にもっと学んでおけば良かった、身につけておけば良かったことはどのようなことですか。

(複数回答)

1. 幅広い教養教育(文学・歴史など)
2. 外国語科目・外国語能力
3. 治療診断系や臨床医学の知識
4. 看護の専門的な知識
5. 看護の臨床技術
6. 論理的に考え、研究する力
7. その他(具体的に:)
8. 特になし

Q19. 現在、東京医科大学医学部看護学科を振り返って、良かったと思う点について教えてください。

該当する項目について、「良かったと思う点」の内容を、具体的にお書きください。

1. 施設(具体的に:)
2. 教員(具体的に:)
3. 職員(具体的に:)
4. 部活やクラブ活動(具体的に:)
5. その他(具体的に:)
6. 特になし

Q20. 現在、東京医科大学医学部看護学科を振り返って、改善すべきと思う点について教えてください。

該当する項目について、「改善すべきと思う点」の内容を、具体的にお書きください。

1. 施設(具体的に:)
2. 教員(具体的に:)
3. 職員(具体的に:)
4. 部活やクラブ活動(具体的に:)
5. その他(具体的に:)
6. 特になし

Q21. 現在、東京医科大学医学部看護学科を振り返って、総合的にどのように感じていますか。

- ① 東京医科大学のカリキュラムに満足している
- ② 東京医科大学の教育内容に、全体として満足している
- ③ 東京医科大学の教育は卒業後の仕事や生活に役立っている
- ④ 東京医科大学への受験を知人や将来の自分の子供に薦めたい

4. 非常にそう思う
3. ある程度そう思う
2. あまりそう思わない
1. 全くそう思わない

Q22. 東京医科大学の教育をより良くするためのご意見、または、東京医科大学へのご要望等を、自由にご記載ください。

本アンケート結果を公表した際にご連絡いたしますので、宜しければメールアドレスをお書きください。
(それ以外の目的には使用いたしません。)

どうもありがとうございました。

おわりに

東京医科大学卒業生アンケートは、卒業生の本学教育についての評価や卒業生の実績・キャリアを把握し、東京医科大学の教育プログラム改善を図るための資料とすることを目的に、看護学科卒業生約 450 名を対象として実施しました。貴重な時間を割いて、多くの質問に丁寧に回答いただいた卒業生の皆様に心より御礼申し上げます。

2015 年度に設立された東京医科大学教育 IR(Institutional Research)センターでは、「学修成果・教育成果を把握・検証する方針（アセスメント・ポリシー）」に基づいた情報収集・分析として、アンケートや様々な指標をもとに学修成果・教育成果を把握・可視化する活動を継続的に行っています。卒業生アンケートもその一つに位置付けられます。本報告書が本学の教育の質保証のための情報（エビデンス）として活用されることを期待しています。

本調査は多くの方々のご協力により実施することができました。この場を借りてお礼申し上げます。東京医科大学看護同窓会には卒業生への連絡先を提供いただきました。看護同窓会会長石塚睦子先生にお礼申し上げます。調査実施にあたり医学科同窓会事務局には大変お世話になりました。また、学内の教職員の皆様、事務局、卒後臨床研修センター、総医局会、医学教育分野別評価領域 7 ワーキンググループにもご協力を頂きました。さらに、本報告書を纏めるにあたっては、教育 IR センター専門委員会の先生方に貴重な助言を頂きました。皆様に感謝申し上げます。最後に、本アンケート調査は令和 3 年度東京医科大学 学長裁量経費【教育改善・改革支援】の援助を頂きましたことに御礼申し上げます。

今後も教育 IR センターの活動にご支援を賜りますようお願い申し上げます。

東京医科大学 教育 IR センター
センター長 荒井 貞夫

◆調査総括・結果検討

東京医科大学 教育 IR センター 専門委員会

委員長 荒井 貞夫 (教育 IR センター・医学教育学)

副委員長 井上 茂 (公衆衛生学)

副委員長 小林 信 (看護学科)

委員 篠田 章 (生物学)

” 平山 陽示 (総合診療医学)

” 成瀬 和子 (看護学科)

” 瀬戸山 陽子 (教育 IR センター)

” 菰田 孝行 (教育 IR センター)

” 油川 ひとみ (教育 IR センター)

東京医科大学医学部医学科 卒業生アンケート 結果報告書

作成 東京医科大学 教育 IR センター

2022 年 5 月 発行

問い合わせ先

住所：東京都新宿区新宿 6-1-1

電話番号：03-3342-6111 内線：2072

メール：ir-cen@tokyo-med.ac.jp

